

令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A- 01	特記仕様書 1	E- 01	電気工事 特記仕様書・凡例
A- 02	特記仕様書 2	E- 02	盤類結線図・照明器具参考姿図
A- 03	特記仕様書 3	E- 03	幹線・弱電設備 平面図
A- 04	特記仕様書 4	E- 04	電灯・コンセント設備 平面図
A- 05	付近見取り図・配置図・敷地面積図		
A- 06	仕上表	M- 01	機械設備工事特記仕様書・凡例
A- 07	平面図・天井伏図・屋根伏図・床面積算定図	M- 02	給排水衛生設備 機器表、衛生器具参考姿図、樹リスト、要領図
A- 08	立面図	M- 03	給排水衛生設備 平面図
A- 09	短計断面図	M- 04	空調換気設備 平面図
A- 10	平面詳細図		
A- 11	屋根・外部巾木詳細・小庇詳細図		
A- 12	展開図 (1)		
A- 13	展開図 (2) ・家具詳細図		
A- 14	建具表		
A- 15	壁見付面積求積図・壁量面積求積図		
A- 16	壁量計算表		
A- 17	筋かい配置図・金物図		
A- 18	基礎伏図・床伏図・小屋伏図・配筋図		
A- 19	外構図		
A- 20	ホース乾燥塔図 (1)		
A- 21	ホース乾燥塔図 (2)		
A- 22	ホース乾燥塔図 (3)		

10. 完成図等	<p>◎工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（建築編改訂2版）」によること。</p> <p>◎工事写真はしゅん工、着工前、機材、施工状況の順に写真帳に整理し、提出する。しゅん工については、工事目的物の状態が、また、機材、施工状況等については、不可視部分の出来形が、写真的に正確に確認できること。</p>	
区分	分類・規格	提出部数
着工前	カラー・手札版又はサービスサイズ	指示部数
工事中	カラー・手札版又はサービスサイズ	指示部数
竣工	カラー・手札版又はサービスサイズ	指示部数

- ◎工事完成撮影は、専門家に（よる・「ふらない」）ものとする。
- ◎竣工時、請負業者は、監督員の指示により、CADデータ・竣工図及び使用材料一覧表（1部、うち電子データ1部）、保全に関する資料等を提出すること。竣工図はA2版2部、A3版1部とする。竣工図は関係図面（原図貸与）を修正して作成すること。竣工図データは、関係図面（データ貸与）を修正して作成し、CD－Rに保存したものとする。

11. 火災保険	<p>◎対象物</p> <p>工事目的物及び検査済材料（支給材料を含む）について付保すること。</p> <p>◎付保険外工事</p> <p>次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。</p> <p>(1)杭及び基礎工事　(2)コンクリート躯体工事</p> <p>(3)屋外付帯工事　　(4)その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等）</p> <p>◎付保する時期及び金額</p> <p>鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。</p> <p>◎保険終期</p> <p>工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工事延伸した場合には、保険の期間も延長すること。</p> <p>◎その他</p> <p>(1)建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。</p> <p>(2)請負業者賠償責任保険に付保すること。</p>						
12. 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>◎建物の用途により以下の物質の室内濃度を測定すること。</p> <p>学校以外：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン</p> <p>採取器具は請負業者にて用意すること。</p> <table border="1"> <tbody><tr> <th>階</th> <th>測定対象室</th> <th>測定箇所数</th></tr> <tr> <td>1階</td> <td>集会室</td> <td>1箇所</td></tr> </tbody></table> <p>測定は、次のいずれかにより行う。</p> <ul style="list-style-type: none">住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく評価方法基準(平成13年 国土交通省告示第1347号)第56－3(3)「ロ 測定の方法」において定められた方法 パッシブ型採取機器を用いる方法 <p>パッシブ型採取機器を用いる場合は、次の要領により行う。</p> <ol style="list-style-type: none">30分間換気 <p>測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押入等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分換気する。</p> 5時間閉鎖 <p>1)の後、測定対象室の全ての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入等の収納部分は解放したままとする。</p> 測定 <p>イ 2)の状態のまま測定する。</p> <p>ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。</p> <p>ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。</p> <p>※(1)、(2)、(3)において、換気設備又は空調設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。</p> 測定結果の提出 <p>測定後、測定結果を監督員に提出すること。</p>	階	測定対象室	測定箇所数	1階	集会室	1箇所
階	測定対象室	測定箇所数					
1階	集会室	1箇所					

2章 仮設工事	
1. 一般事項	◎着工に先立ち、敷地境界、既存構造物及び地下埋設物の確認、近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと。
2. ベンチマーク	◎設計QLの設定は、BM（ 図示 ）を-75とする。ただし、監督員の指示により決定する。
3. 足場等	◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。 <ul style="list-style-type: none">○労働安全衛生法に基づく構造規格 ○(社)仮設工業会の認定基準 また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」に基づく(社)仮設工業会の「適用工制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承諾を得ること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等（組立から解体までの期間が60日未満を除く）の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。 <ul style="list-style-type: none">届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず、足場を設置する場合は、使用開始前に営繕課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。 ◎外部足場（種類：くさび緊結式足場・手摺先行方式、仕様:抜止め機能付型）シート仕様：ネット状養生メッシュシート <ul style="list-style-type: none">○壁つなぎ間隔(水平方向:8m以下、鉛直方向:9m以下) ○足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2)の手すり据置方式により行うこと。ただし監督員の承諾を得た場合は、(3)手すり専用足場方式により行うことができる。 ◎内部足場　高さ4mを超えるところ（種類：枠組棚足場）○内部小屋裏、鋼製軽量足場板、梁強化型緊結の事 <ul style="list-style-type: none">上記以外（種類：脚立足場）各階
	◎仮囲い(仕様： 、H= m、L=)　○1階-2段、木杭φ2.0程度 <ul style="list-style-type: none">・ゲート（有、無、仕様：キャスターゲート、W= m H= m） ◎足場等の設置業者は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。 ◎受注者は、つり足場（ゴンドラのつり足場を除く。）、張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具等を上げ、又はおろすときは、つり綱、つり袋等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職務を掲示すること。

4. 監督員事務所	◎監督員事務所は <ul style="list-style-type: none">・設けない（設置場所、規模については監督員との協議のうえ決定する。）
5. 工事用用水、電力等	◎既存電力利用（出来る、 「 出来 ない 」 ）、電力料金（ 「 有償 」 無償） <ul style="list-style-type: none">◎既存水利用（出来る、「出来ない」）、用水料金（「有償」無償） ただし、施設管理者と協議すること。
6. 工事車両用駐車場 <p>資材置場</p> <p>現場事務所用地等</p>	◎同用地は、（施設管理者と協議の上敷地内に）設けること。 <p>駐車場等でこれより多く必要とする場合は、受注者にて設けること。</p>

3章 土工事	
1. 根切り	◎周辺の状況、土質、地下水の状態等に適した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止上必要な処置をすること。 <ul style="list-style-type: none">◎敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し支障がないようにすること。 ◎根切り底は、地盤をかく乱しないよう、手作業（深さ30・程度）とするか、バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械堀りとする。なお、かく乱した場合は、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な処置を定め、監督職員の承諾を受ける。
2. 排水	◎工事に支障を及ぼす雨水、わき水等は、適正な排水溝、集水ます等を設置し、支障がないようにすること。
3. 埋め戻し及び盛土	◎使用土は（A種、 「 区 理 」 C種、D種）とし、機器により締め固める。 <ul style="list-style-type: none">◎余盛りは、土質に応じ監督員と協議の上、余盛り高さを決定すること。
4. 地均し	◎建物の周囲、幅2m程度を、水はけよく地均しを行う。 <ul style="list-style-type: none">◎地均しは、均しを行う地表面の不陸を修正し、草木の除去及び清掃をして、一様にかき均した後、仕上げ面を一様になじみ起こしをして、良質土をまきかけ、歩行に耐えうる程度に締め固める。
5. 建設発生土の処理	・ 場外搬出適正処分とする。 <ul style="list-style-type: none">◎場内処分、東側法面にバックホにてよく転圧地均しを行う。以降余り土、場外搬出適正処分とする。

4章 地業工事			
1. 一般事項	◎排水、排土等は産業廃棄物に該当するため、関係法令に基づき、適正に処理すること。		
2. 砂利・砂及び捨コンクリート地業等	◎材料は、市場品とする。 <ul style="list-style-type: none">◎砂利及び砂地業 <ul style="list-style-type: none">・厚さが300mmを超える場合は、300mmごとに締固めを行う。 ○砂利は、（切込砂利・「切込砕石」・「再生カラララ」）とする。		
種別	使用部位	厚さ	粒度範囲
再生カララララ	基礎下	図面参照	RC30
再生カララララ	土間下	図面参照	RC30

- 締固めは、ランマー3回突き、振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締めとする。締固めによる凹凸は目つぶし砂利で上均しをする。
- ◎締め固め機械の選定に当たっては、地質の状況を検討し監督員の承諾を得ること。
- ◎捨コンクリートは、無筋コンクリート（スランブ15・、設計基準強度18N/mm2）とし、厚さは、50mmとする。
- ◎床下防湿層は、「ポリイソシアヌレート」厚さ0.15mm以上、重ね合せ及び基礎梁際のみ込みは250mm、断熱材のある場合の、のみ込みは400mm以上とする。
- ◎防湿層の位置は、土間コンの直下とする。ただし、断熱材がある場合は、断熱材の直下とする。

4章 鉄筋工事													
1. 材料	◎ <table border="1"> <tbody><tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類の記号</th> <th>径(mm)</th></tr> <tr> <td>JIS G 3112</td> <td>鉄筋コンクリート用棒鋼</td> <td>SD295A</td> <td>10、13</td></tr> <tr> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td> <td>-----</td></tr> </tbody></table>	規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)	JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A	10、13	-----	-----	-----	-----
規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)										
JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD295A	10、13										
-----	-----	-----	-----										
2. 材料試験	◎材料試験は行わない。 <p>ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること</p>												
3. 加工及び組立て	◎主要構造部の配筋は、コンクリート打ちに先立ち、監督員の検査を受ける。 <ul style="list-style-type: none">◎鉄筋の継手は、（「重ね継手」）、ガス圧接継手、特殊継手）とする。 ◎鉄筋の継手位置は図示による。 ◎結束線の端部は内側に折り曲げる。 <ul style="list-style-type: none">・柱、梁の主筋D19以上は、ガス圧接継手とする。 ・先組み工法の柱、梁の主筋の継手は同一箇所としてもよい。 ◎土間スラブのメーサは鋼製及びコンクリート製を原則とし、他の箇所についても材種等について監督員の承諾を得ること。また、鋼製のメーサは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。 ◎鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による。 ◎鉄筋の定着方法及び長さは図示による。												

4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	◎柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、標仕(R-4年版)表5.3.6の数値に10mmを加えた数値を標準とする。 <ul style="list-style-type: none">◎目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。 ・杭基礎の場合のかぶりの厚さは、杭先端からとする。 ◎各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、標仕参考図[1節-基礎及び基礎梁の配筋]～[7節-梁貫通孔その他配筋]による。
5. 帯筋	・ 形の種別は構造図による。
6. 梁貫通孔補強	◎補強形式　鉄筋コンクリート構造配筋基準図による。 <ul style="list-style-type: none">・ 梁貫通補強に建設技術評価規定に基づく評価品を使用する場合は、それぞれの部分についてメーカーの構造計算書を提出し、監督員の承諾を得ること。
7. ガス圧接	・ 圧接技量資格者は、工事に相応したJIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）による技量を有する者とする。 <ul style="list-style-type: none">・ 検査は、外観検査及び(引張試験、「超音波探傷試験」)による。
8. 配筋検査	◎主要な配筋は、コンクリート打ち込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員 の検査を受ける。

T I T L E	D A T E	N O
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業	相生第3分団詰所新築工事	A-02
N A M E	S C A L E	
特記仕様書 2		
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

(A-2＝100%) (A-2→A-3縮小＝70%)

4. 樋

- ◎たて樋 塩ビ製カラー丸タテ樋75、50φ（支持金物は使用メーカー仕様による）。
- ◎のき樋 塩ビ製カラー角軒樋（支持金物吊りブラケットとし使用メーカー仕様による）。
- ◎硬質塩化ビニル雨どいの1本の長さは、10m以内とし、伸縮に対応する工法を選択すること。
- ◎ルーフトレイン及びといは、取付け完了後、清掃し、通水試験を行う。
- ◎さがり止めは監督員の指示がある場合設ける、仕様は標仕13.5.3(a)(4)又は13.5.3(e)(2)による。

13章 金属工事

1.一般事項

- ◎製品の取付に当たっては、受材の有無並びにアンカーの長さ、径及び本数等について、十分耐力のある工法を選択し、監督員の承諾を得ること。

2.表面処理

- ◎ステンレス

種類	表面仕上げの種類	施工箇所
SUS 304	HL	幅木

3.床点検口

- ◎アルミ製600角

11章 左官工事

1.一般事項

- ◎下地調整に用いる吸水調整材の使用方法は、製造所の仕様による。
- ◎コンクリート等面の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行って、次の層の塗り方にかかる。
- ◎下地、塗り面等の浮いている部分は、直ちに補修する。

2.モルタル塗り

施工箇所	仕上げの種類	目地	防水の有無	備考
床タイル下地	木こて	無	無	

- ◎防水剤の製造所： 評価名簿による。
- ◎目地の位置及び寸法は図示による。
- ◎防水モルタルに用いる防水剤の使用方法は、製造所の仕様による。
- ◎総塗り厚さが25mm以上となる場合は、はく落防止工法とすること。

3.床コンクリート

- ◎施工箇所（図示による）

12章 建具工事

1.一般事項

- ◎外部に面する建具は、建築基準法施行令、又は「屋根葺き材、外装材及び屋外に面する帳壁の基準（昭和46年建設省告示第109号）」に基づき安全性を確認すること。
- ◎防火戸の指定は建具表による。
- ◎建具見本の製作及び特殊な建具の仮組は、建具表による。
- ◎防犯建物部品の適用は、建具表による。

2.アルミニウム製建具

種類	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法	使用箇所	表面処理
木造用	S-3	A-4	W-4	70	図面参照	B-2(カラー)

- ◎防虫網の仕様はメーカー仕様とする。
- ◎建具には製作者者名を表示すること。

4.木製建具

- ・建具材の含水率の種類は、（A・B・C）種とする
- ◎見込み寸法、表面板の厚さは図示による。
- ◎フラッシュ戸の表面材の合板の品質について、ホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のフラッシュ戸を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。その他は、標仕16.6.2(b)(1)(・)(・)による。
- ◎建物内部の木製建具に使用するホルムアルデヒド水溶液を用いた塗作用、壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆のでん粉系接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

5.建具金物

- ◎金物の種類及び見え掛り部の材質は、標仕表16.7.1による。
- ◎既成又はこれに準ずる建具金物は、建具製作所の仕様による。
- ◎握り玉及びハンドル、押板類、クレント等の取付け位置は図示による。
- ◎マスターキーは、製作する（2組）。

6.ガラス

- ◎板ガラス

種類	品種	厚さ	備考
複層ガラス		図面参照	

- ◎外部に面する網入り板ガラス等の下辺小口及び縦小口下端に防錆処置を行うこと。
- ◎ガラス・アルミパネルのとめ材の種類

建具の種類	材種	ガラス溝の大きさ
アルミニウム製、ステンレス製	SR-1両面	標仕表16.14.1

- ◎防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。

13章 塗装工事

1.一般事項

- ◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。
- ◎塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。
- ◎UV7樹脂等（UV7樹脂、マニル樹脂、フェノール樹脂、レゾルノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

区分	工程種別	素地ごしらえ	備考
モルタル面	標仕18.6.2 B種	B種	

2.アクリル樹脂非水分散形塗料塗り（NAD）

区分	種別	素地ごしらえ	備考
木部	A種	B種	図示による

3.木材保護塗料塗り（WP）

区分	種別	素地ごしらえ	備考
木部	A種	B種	図示による

4.工場塗装塗り

- ◎床フローリング オイル塗装仕上げ 標仕18.12.2 及び標仕18.13.2 B種程度
- ◎屋内木部 木材保護塗料塗り 標仕18.13.2 B種程度

17章 内外装工事

1.せっこうボードその他ボード及び合板張

材種・規格品	施工箇所	工法	厚さmm	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備考
化粧せっこうボード(トラバーチン模様)JIS A 6901の規格品	天井	突付け	9.5	準不燃	標仕19.7.2(4)(5)(7)	木	
押入用化粧せっこうボードJIS A 6901の規格品	天井	突付け	9.5	準不燃	標仕19.7.2(4)(5)(7)	木	
せっこうボードJIS A 6901の規格品	天井壁	突付け突付け	9.512.5	準不燃準不燃	標仕19.7.2(4)(5)(7)〃 〃	木	
けい酸カルシウム板JIS A 5430の規格品	天井	目透かし	5	不燃	標仕19.7.2(4)(5)(7)	木	
耐水せっこうボードJIS A 6901の規格品	壁壁	突付け(捨張り)突付け	12.512.5	不燃不燃	標仕19.7.2(4)(5)〃 〃	木木	

- ・石こうボードはスクウェアエッジとする。

- ◎合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

2.断熱・防露

種類	種別	厚さmm	工法	施工箇所	備考
グラスウール 24K	JIS A 9504	100mm	はめ込み	外壁、天井	

- ◎ロックウール、グラスウール、UV7樹脂又はマニル樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの発散量は、F☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

3.接着剤

- ◎壁紙施工用でん粉系接着剤、UV7樹脂等（UV7樹脂、マニル樹脂、フェノール樹脂、レゾルノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量はF☆☆☆☆とする。ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

14章 ユニット及びその他の工事

1.キッチンセット

- ◎ミニキッチン(W1500)・加熱機器IH/300・2穴シンク 2in1-(リサイクル同等品)

2.下足入

- ◎仕上 樹脂化粧化粧合板
- ◎寸法 1410×350×1095

3.SUS製フード

- ◎SUS製丸型防風板付ベントキャップ 75φSUS防虫網付

4.ホース乾燥塔

- ◎製造所（日本ネットワークサポート NAホスポール程度）
- 地上高さ12m支柱、手動ウインチ、ホース掛け金具、その他一式

5.外壁及び出入り口文字入れ

- ◎看板専用塗料文字書き 大同塗料 ロイヤルカラー程度

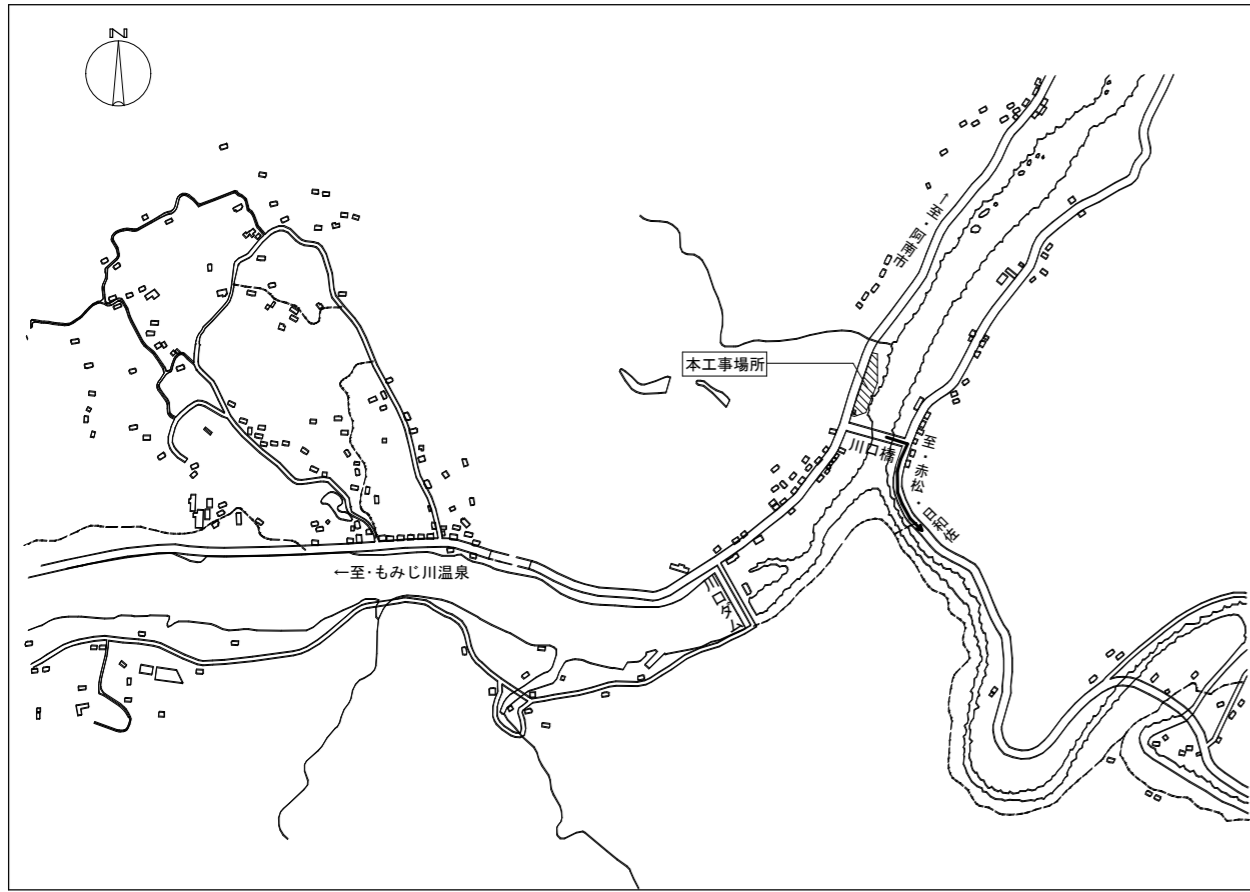
6.アルミ庇

- ◎強度に関する資料を監督員に提出すること。取付ピッチ、支持材ピッチは採用メーカーの規定・構造計算による。
- ◎D=900/1500 W=1400
- ◎製造所（7&7イン:AD2、AD2-2程度）

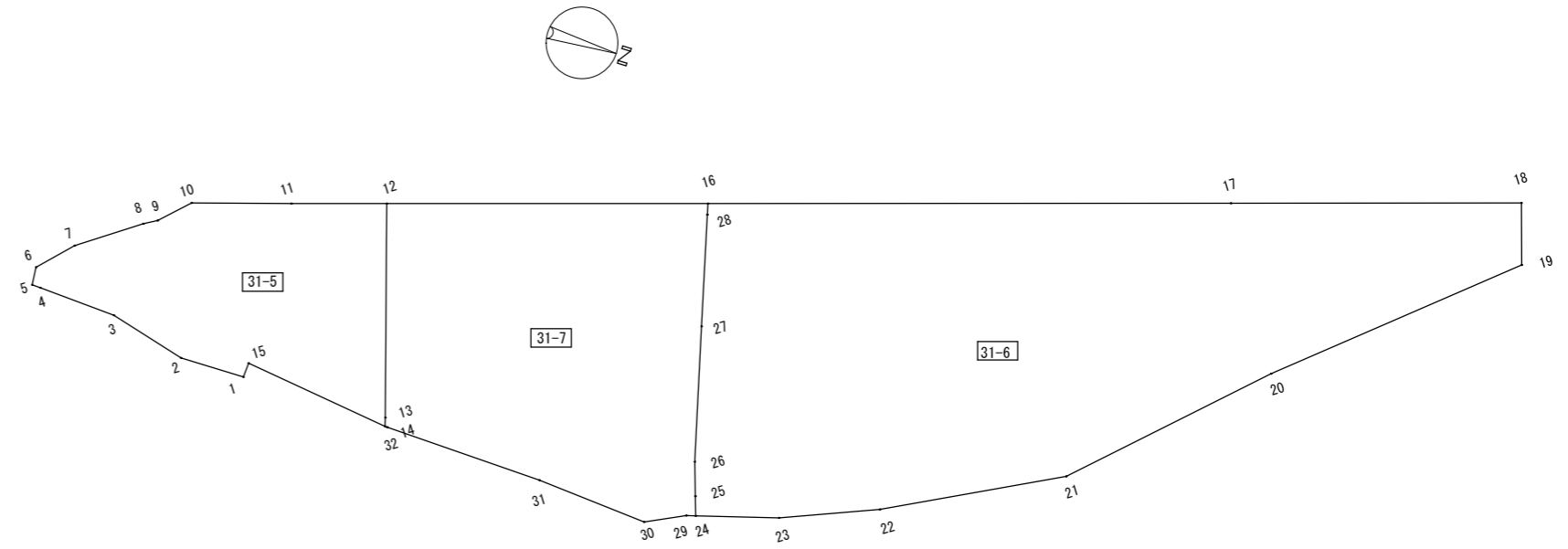
7.メッシュフェンス

- ◎溶融亜鉛メッキ+樹脂コート品 W50幅
- ◎製造所（朝日スチール工業UNIフェンスA型、JEF建材、四国化成工業、積水樹脂）

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業	相生第3分団詰所新築工事	A-04
NAME	SCALE	
特記仕様書 4		
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



付近見取図 S=NON

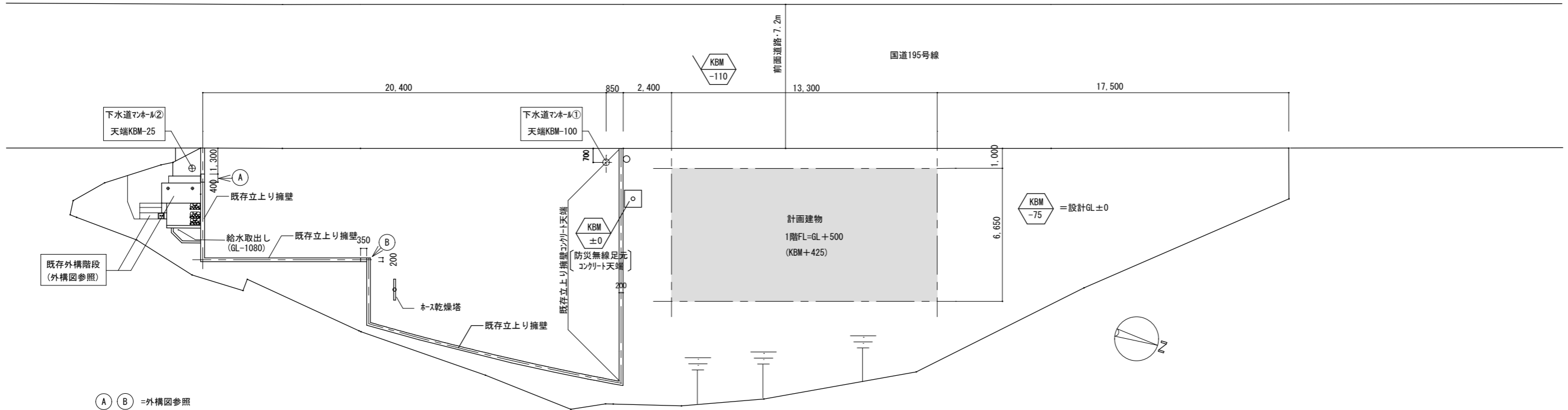


敷地公園 S=1/200

敷地面積		
那賀町吉野中原31-5	那賀町公園より	82.00 m ²
那賀町吉野中原31-6	那賀町公園より	309.00 m ²
那賀町吉野中原31-7	那賀町公園より	146.24 m ²
		537.24 m ² (162.5坪)

建物概要	
木造平屋建て	

新築建物面積	
建築面積	A-07・面積算定図より 88.4 m ² (26.7坪)
床面積	A-07・面積算定図より 85.7 m ² (25.9坪)



配置図 S=1/150

設計GL=KBM-75とする。

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-05
NAME	SCALE	NON
付近見取図・配置図・敷地面積図		1/150 1/200
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

(A-2=100%) (A-2→A-3縮小=70%)

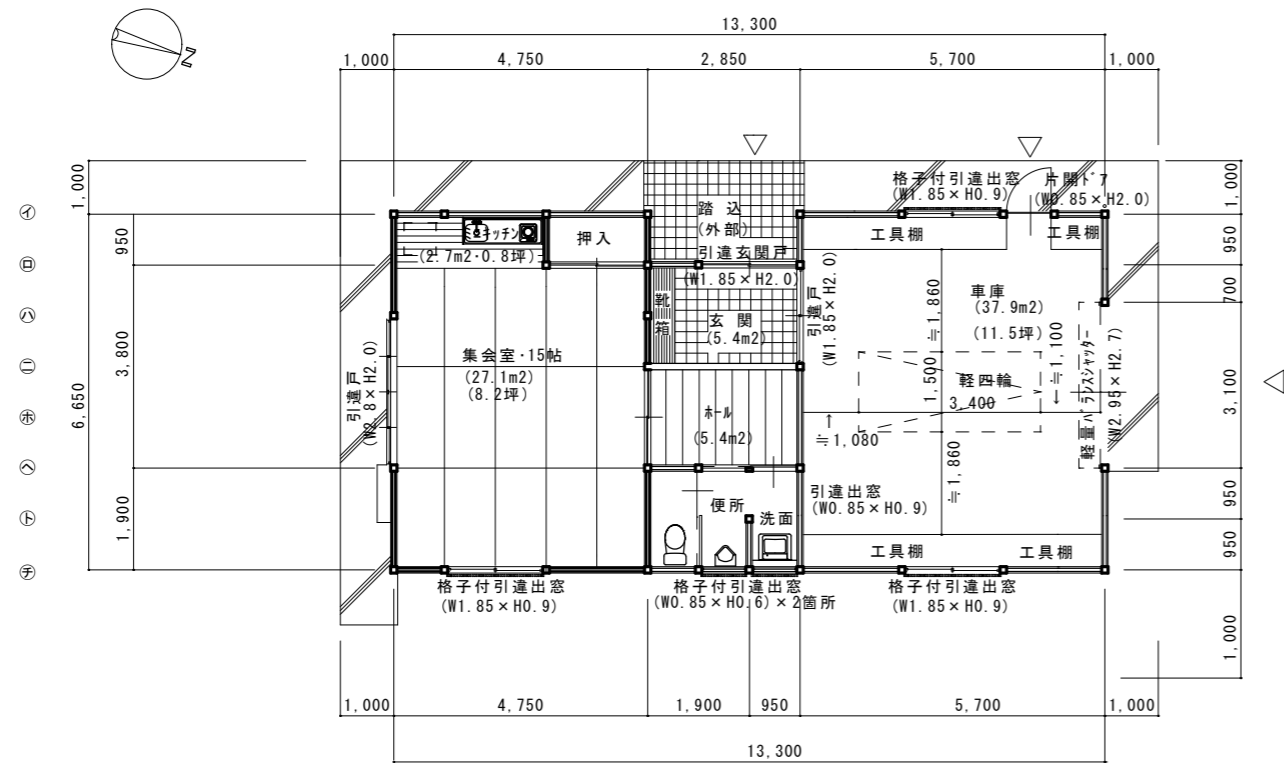
外部仕上表

屋根	熔融亜鉛アルミニウム合金メッキ・t4 立上げ葺き (下地改質アスファルト・フィニッシュ t1 タック付き)		
外壁	金属系サイディング (t15・働き幅300mm表面フラットタイプ・横張) 透湿防水シート下地 (アイシ-SP・カールタイトII 同等品)		
巾木	コンクリート打放し (塗装合板型枠A種)		
軒天	けい酸カルシウム板 (一部有孔板) 厚5 底目地張り NAD塗		
玄関扉・子 犬走り	床 磁器200角タイル・先端部段鼻ノンスリップタイル コンクリート金鍍押え 玄関扉・子部 (外部) 外巾木磁器200角タイル立上げ (H100)		
樋	軒樋 カラ硬質塩ビ製75φ、ステンレス製掴み金物 軒樋 カラ角型硬質塩ビ製W=100 ステンレス製吊り金具		

内部仕上表

階	室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	CH	備考
1階	玄関	200角磁器タイル張り	200角タイル立上げ 杉 H=60 木材保護塗料塗	GB-R・t12.5下地ビニルクロス張り	化粧石膏ボード・t9.5	塩ビ製	2400	下足入
	ホール	杉フローリング・t12 (本実)巾90/オイル塗装仕上	杉 H=60 木材保護塗料塗	GB-R・t12.5下地ビニルクロス張り	化粧石膏ボード・t9.5	塩ビ製	2400	上り框
	集会室	タタミ厚55敷き	杉 H=60 木材保護塗料塗	GB-R・t12.5下地ビニルクロス張り	GB-R・t9.5下地杉板・t12・ニルクロス	塩ビ製	2400	ミニキッチン (本工事) 同等品
	湯沸コーナー	杉フローリング・t12 (本実)巾90/オイル塗装仕上	杉 H=60 木材保護塗料塗	GB-S・t12.5下地不燃ビニルクロス	GB-R・t9.5下地杉板・t12・ニルクロス			湯沸及び集会室・床、壁及び天井見切木材
	便所	長尺塩ビシート張り	杉 H=60 木材保護塗料塗 小便器廻り:ステンレス H=60	GB-S・t12.5下地ビニルクロス張り	化粧石膏ボード・t9.5	塩ビ製	2400	
	押入	合板 厚9張り	雑巾摺	押入用杉ボード・t12.5	押入用化粧石膏ボード・t9.5	塩ビ製	2400	
	車庫	土間コンクリート金鍍押え (基礎立上り取合、れき青質板 t20・土間コン部@2.0mれき青質板 t20 目地切り)	基礎コンクリート 打放し:A種	珪酸カルシウム板t6目透かし張り EP-G塗装	化粧石膏ボード・t9.5	塩ビ製	2700	工具棚t12・杉板張り 車庫土間コンクリート・エラストイトt10×150目地切

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-06
NAME	SCALE	
仕上表	NON	
株式会社 川建設計	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



床面積	85.74m ²	(25.9坪)
建築面積	88.45m ²	(26.8坪)

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

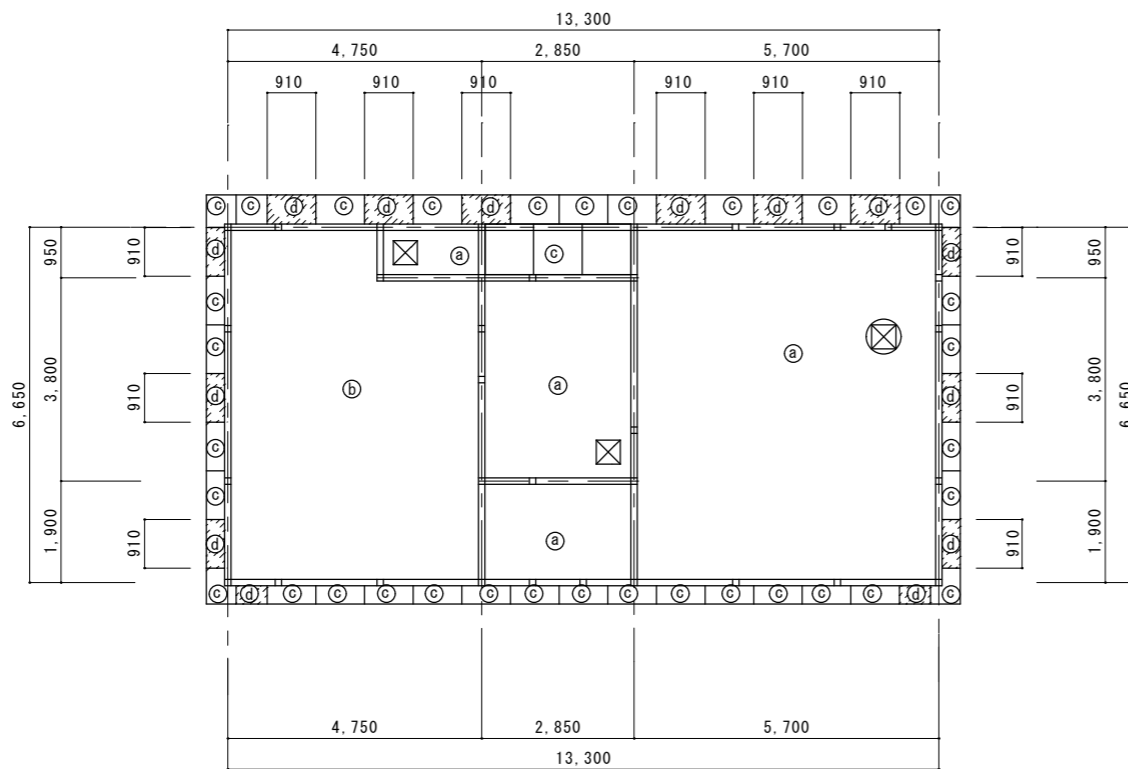
= 犬走り示す

平面図 S=1/100

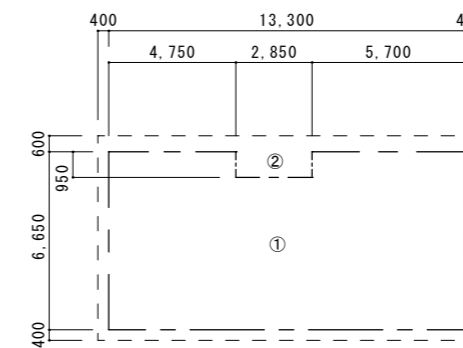
Ⓐ	化粧石膏板・ト 厚9.5(押入用化粧石膏板・ト 厚9.5)
Ⓑ	GB-S・厚9.5 杉柁ビニルクロス
Ⓒ	けい酸カルシウム板 厚5 底目地張り NAD塗
Ⓓ	有孔けい酸カルシウム板 厚5 底目地張り NAD塗

- 天井点検口 600×600 アルミ製
- シヤック-天井裏用天井点検口 600×600 アルミ製

屋根伏図 S=1/100



天井伏図 S=1/100



面積算定図 S=1/200

床面積算定表

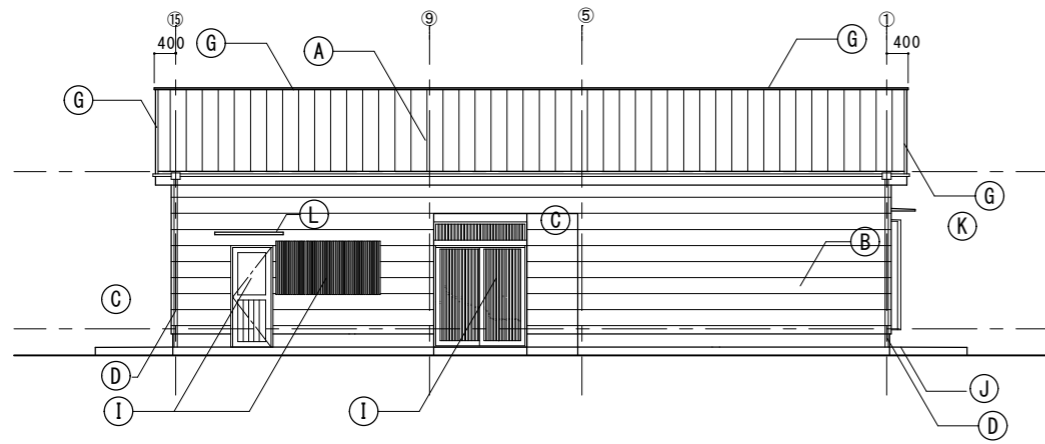
①	6.65 × 13.3 =	88.445
②	▲ 0.95 × 2.85 =	▲ 2.7075
計		85.7375 → 85.7m ² (25.9坪)

建築面積算定表

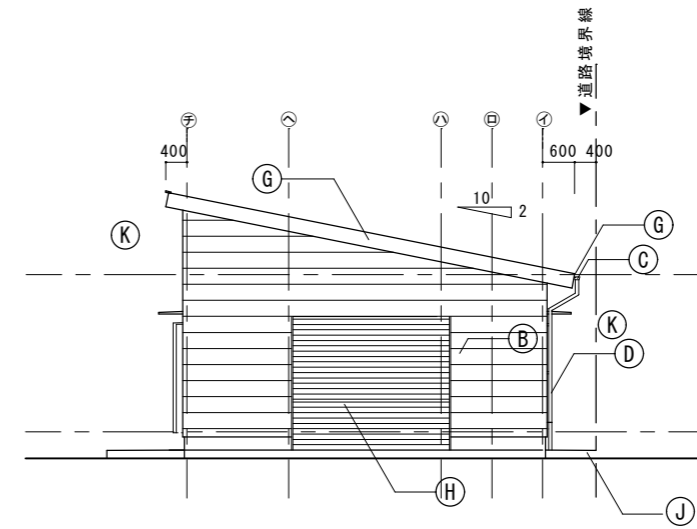
①	6.65 × 13.3 =	88.445
②	= 差引無し	
計		88.445 → 88.4m ² (26.8坪)

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-07
NAME	SCALE	1/200
平面図・天井伏図・屋根伏図・床面積算定図		1/100
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

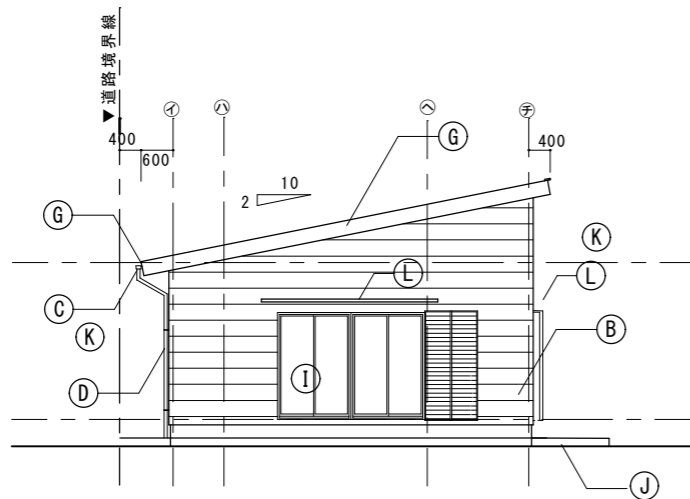
(A-2=100%) (A-2→A-3縮小70%)



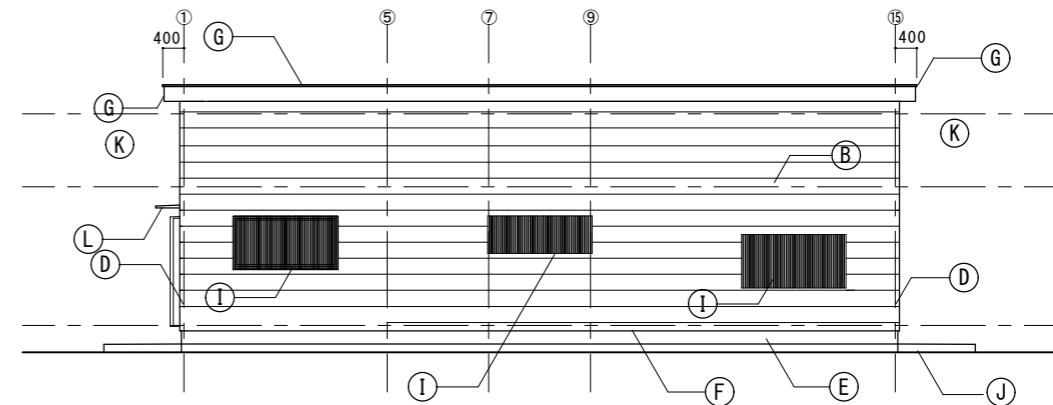
西立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

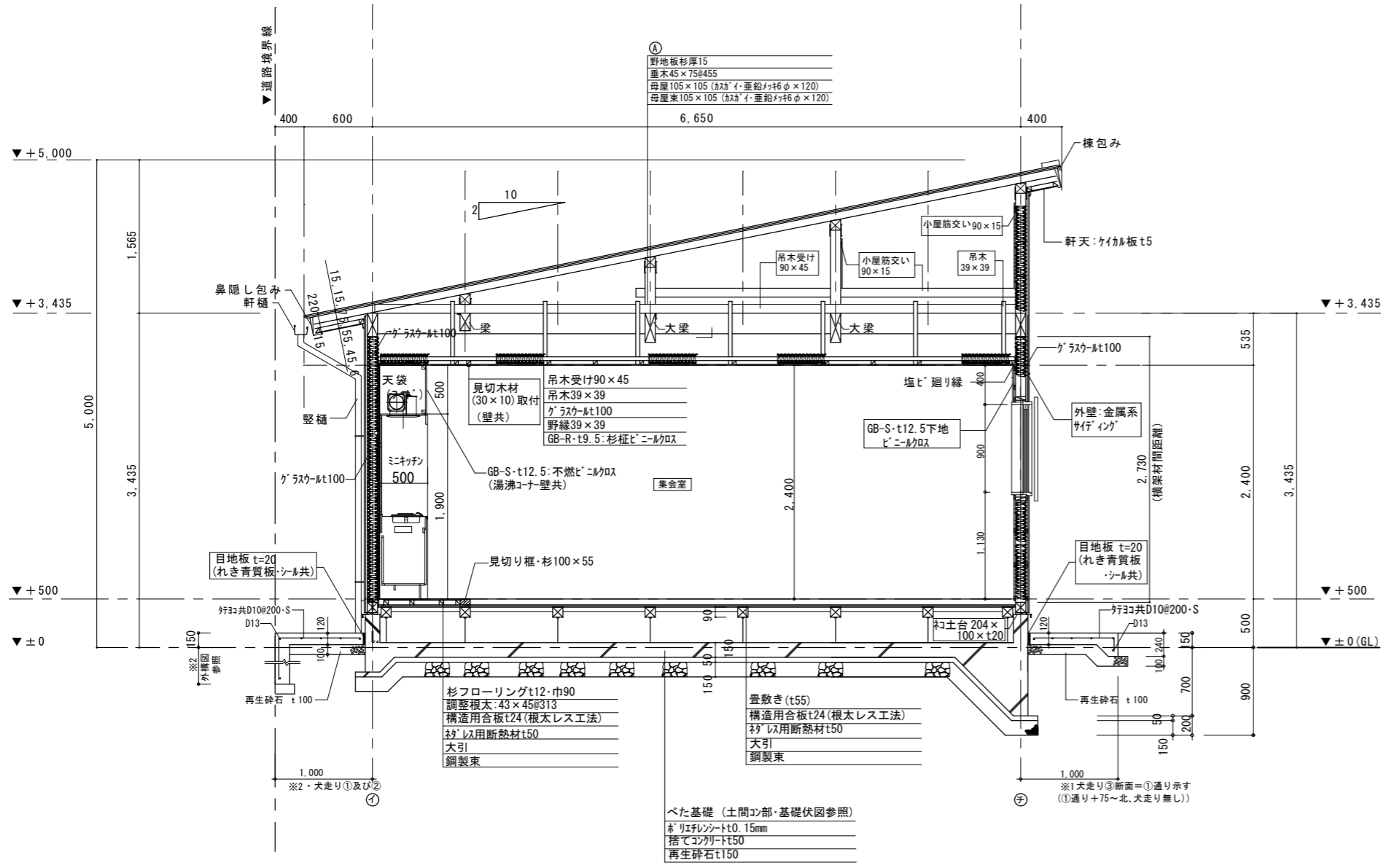


東立面図 S=1/100

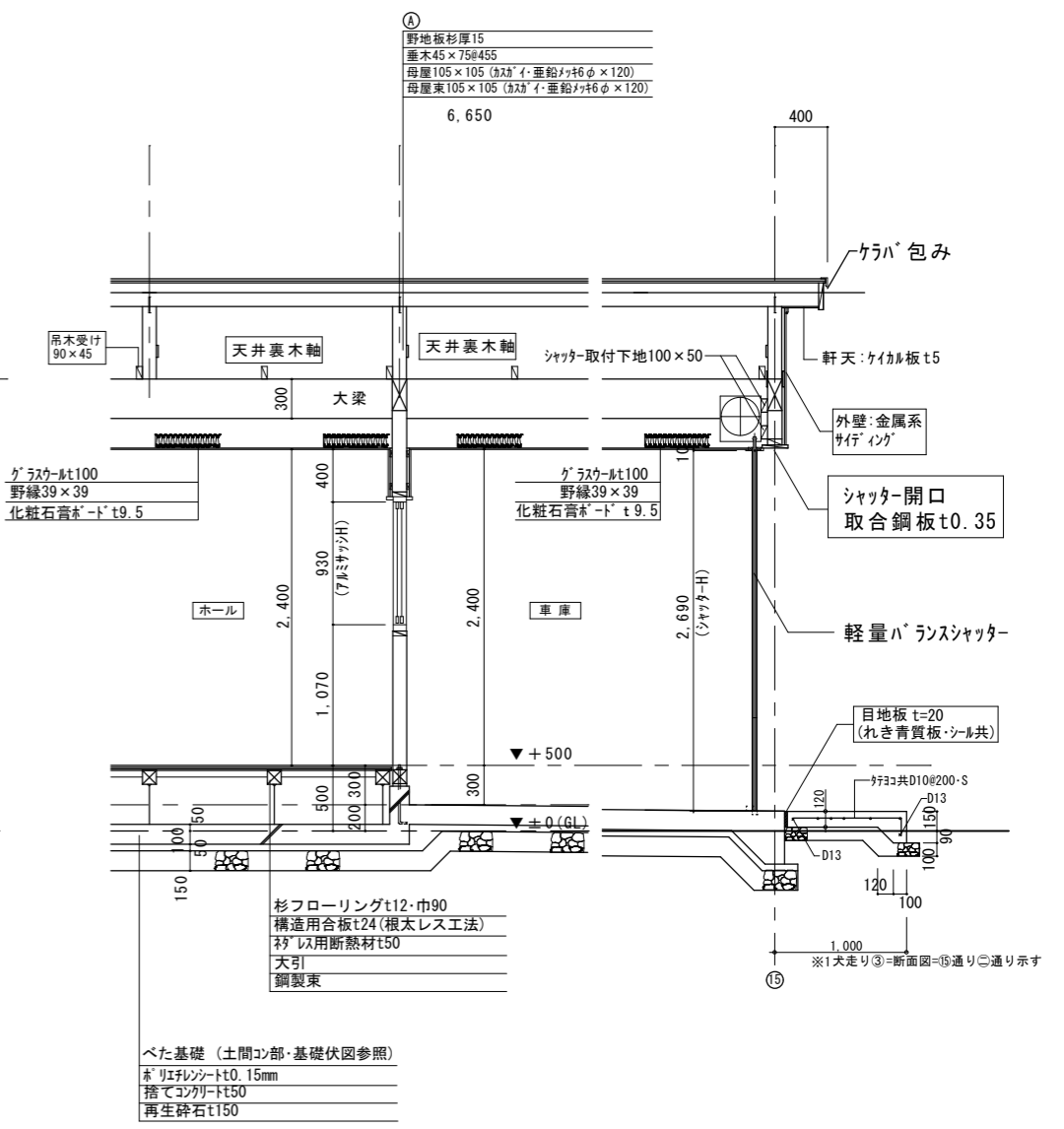
外部仕上表

(A)	屋根: 熔融亜鉛アルミニウム合金メッキ t4 立ハセ葺き (下地改質アスファルト・フィング t-1 タック付き)
(B)	外壁: 金属系サイディング (t15・働き幅300mm表面フラットタイプ・横張) 透湿防水シート下地 (アイソ-SP・ガルブライトII 同等品)
(C)	軒樋: カラ角型硬質塩ビ製W=100 ステンレス製吊り金具
(D)	縦樋: 塩ビ縦樋60φ
(E)	外部巾木: コンクリート打放し (A種)
(F)	外部巾木及びシャッター開口部取合水切りカラ熔融アルミニウム合金メッキ鋼板t0.35
(G)	屋根取合役物: 鼻隠・ケラバ・棟包み (熔融アルミニウム合金メッキ鋼板 t 0.5) 屋根同材
(H)	手動軽量ハランスシャッター (W3000×H2700): 消防分団名記入 → (那賀町消防団相生第3分団)
(I)	木造アルミサッシ (引込戸鏡板付き)・出窓・面格子付窓・片開きドア・玄関引違い戸
(J)	犬走り: コンクリート金鍍押え
(K)	軒天: ケイカル板 t 5 (有孔ケイカル) 天井伏図参照
(L)	アルミ庇 (出450) (アルミ庇及び外壁取合部シル・20×10)

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団団詰所新築工事		A-08
NAME	SCALE	
立面図	1/100	
株式会社 川建設計	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



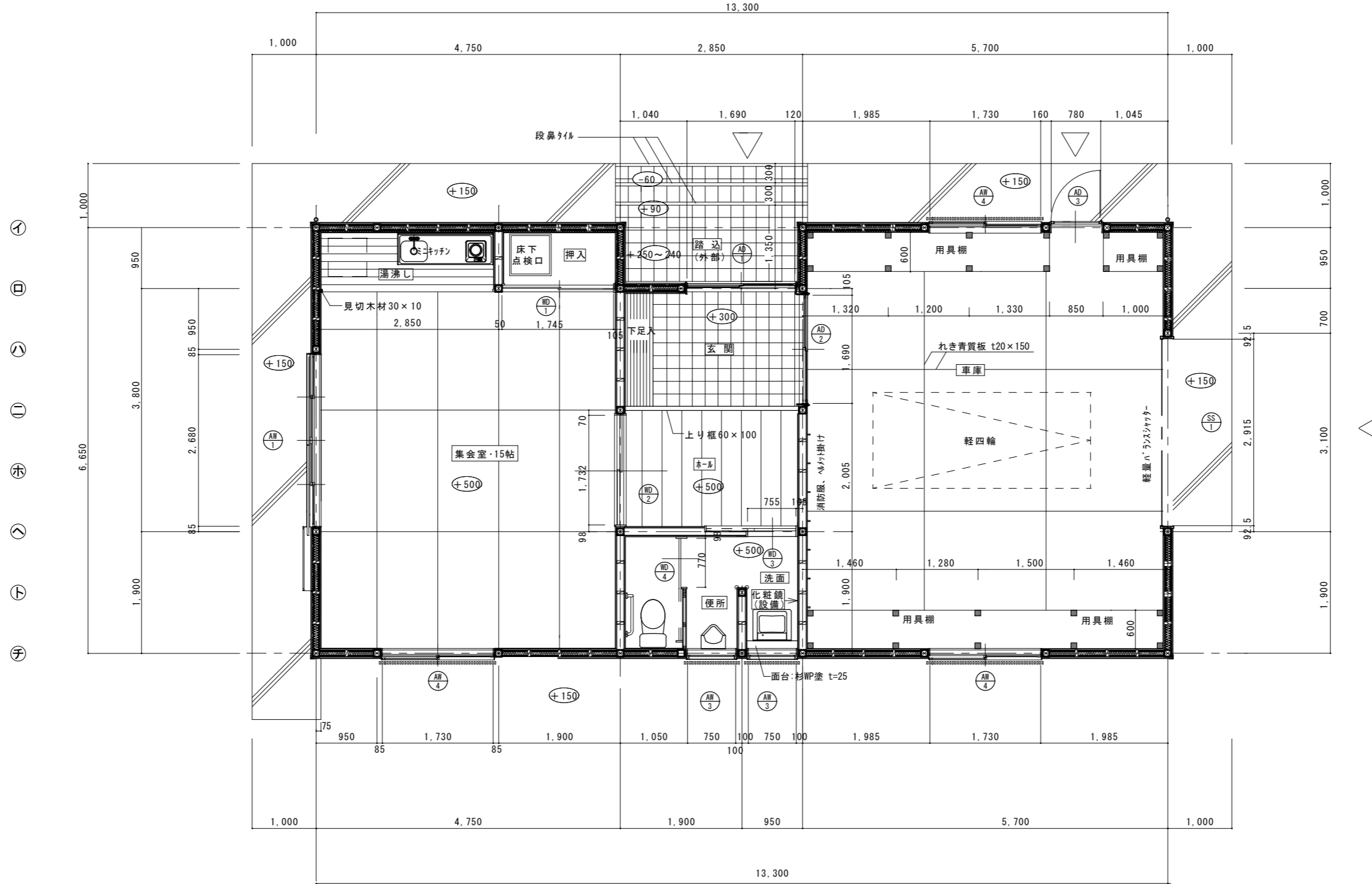
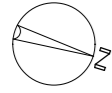
③通り矩計断面図 S=1/50




㊦通り車庫シャッター断面図 S=1/50

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団団所新築工事		A-09
NAME	SCALE	
矩計断面図	1/50	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

(A-2=100%) (A-2→A-3縮小=70%)

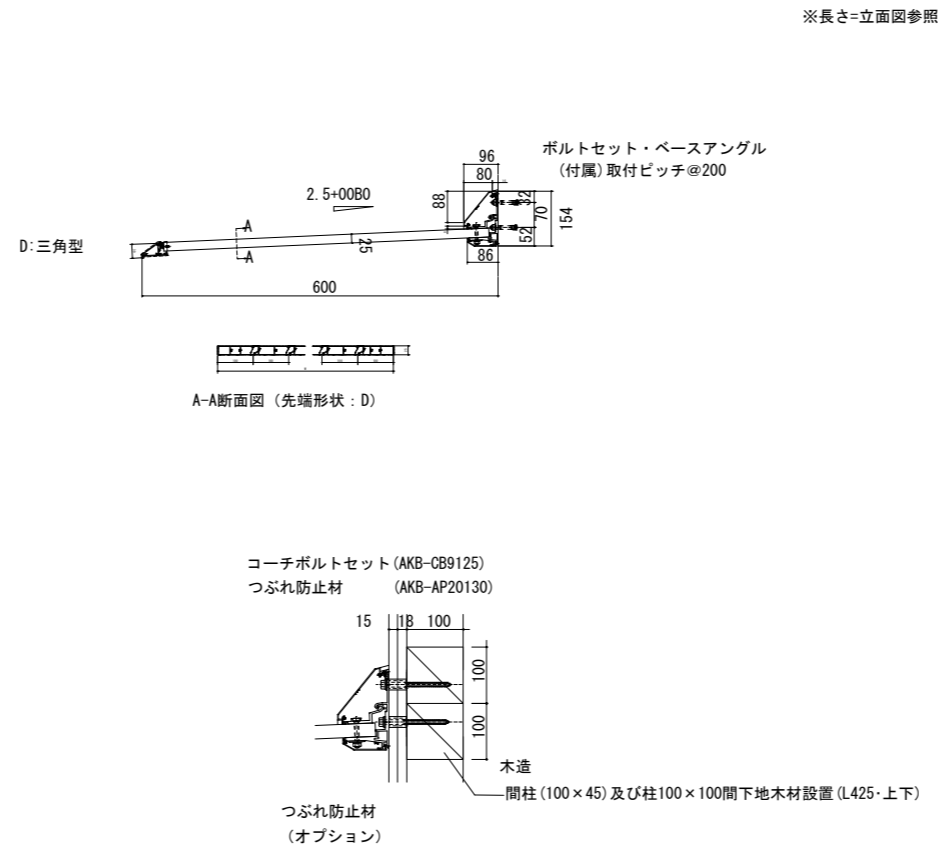
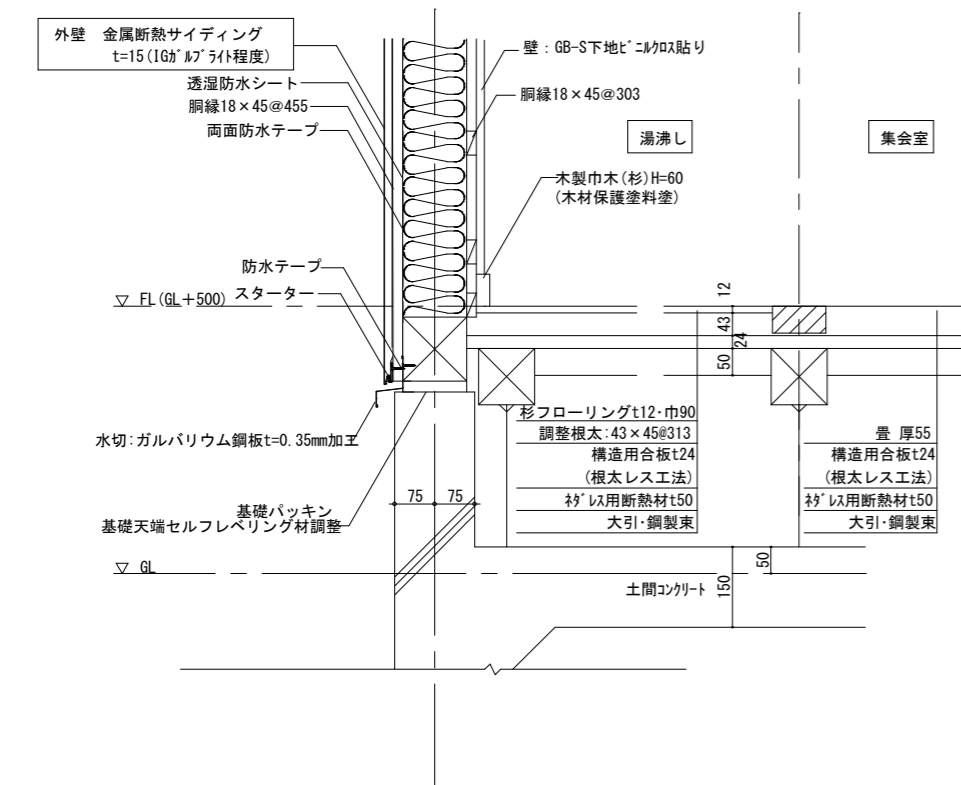
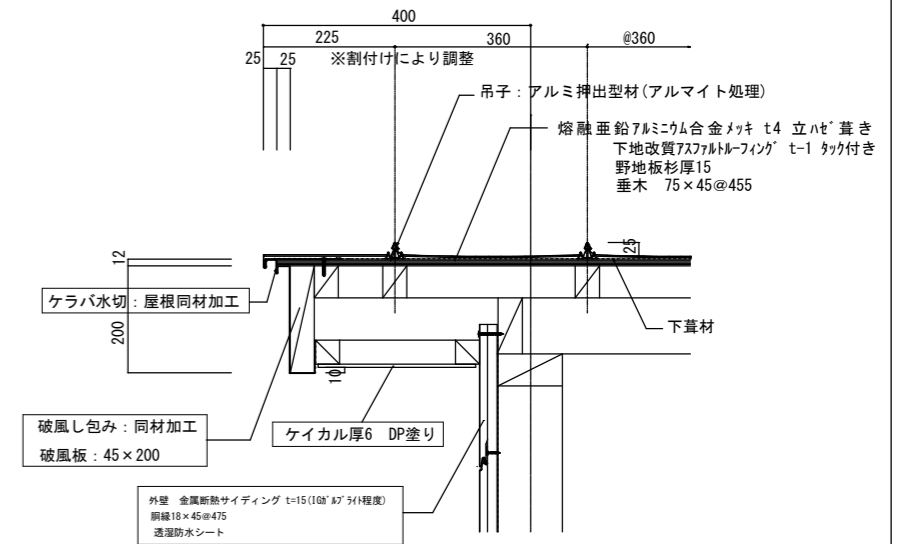
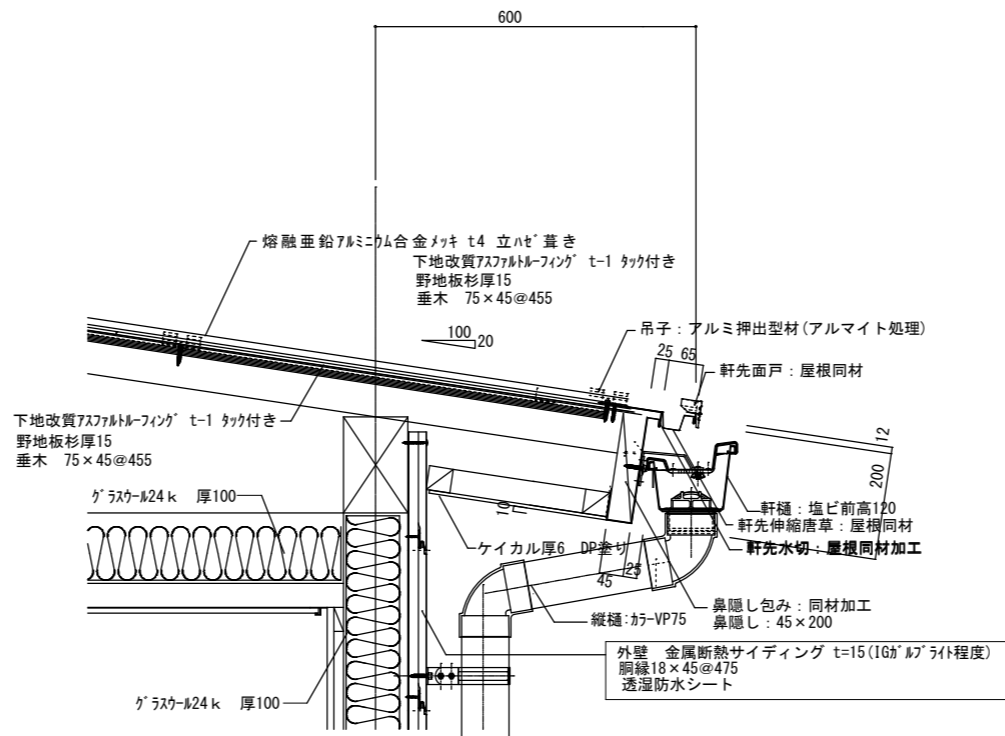
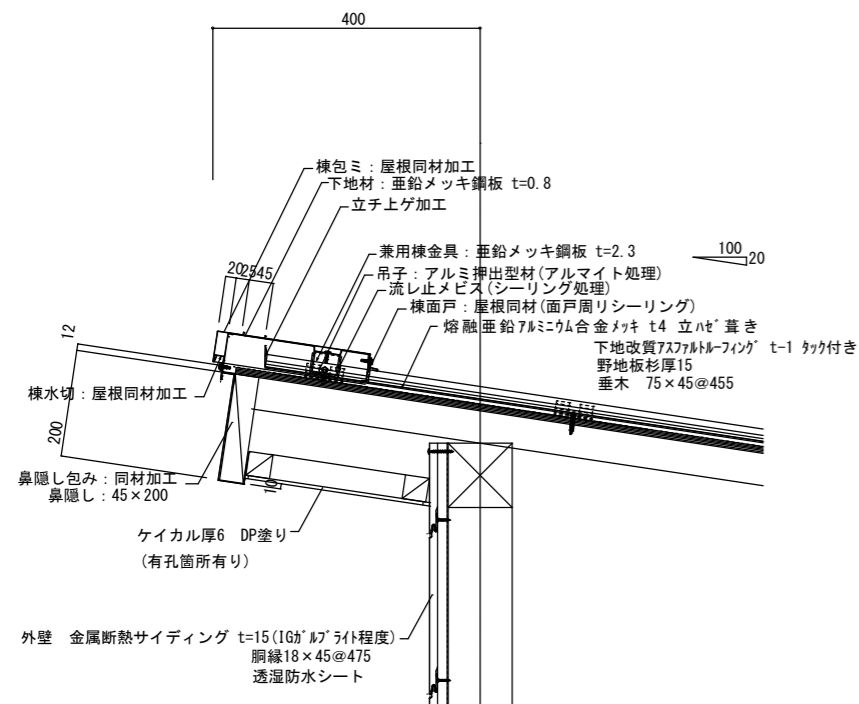


- = 便所洗面壁角塩ビカバー
-  = 犬走り示す
- ⊕0 = 設計GLからの高さ示す

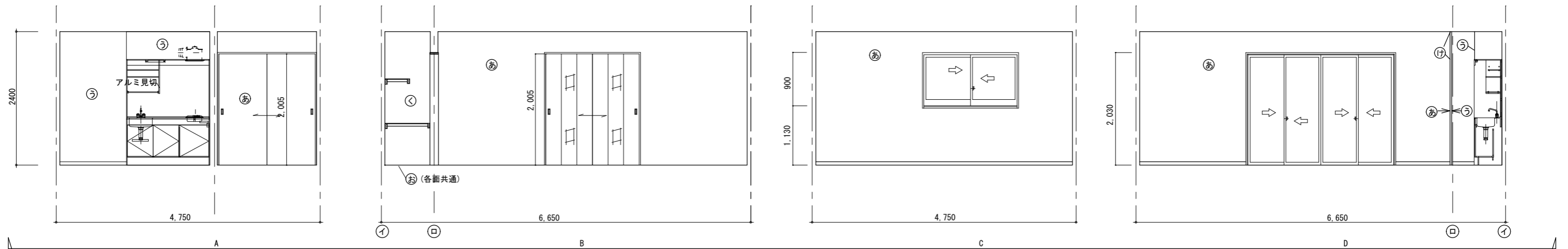
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-10
NAME	SCALE	
平面詳細図	1/50	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

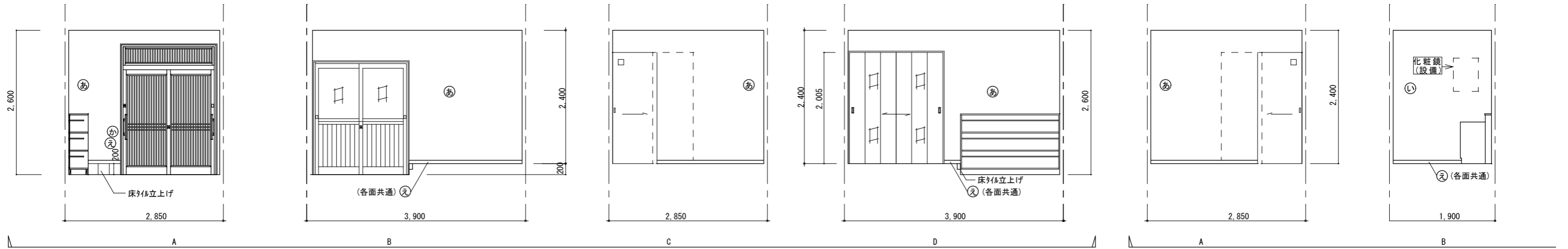
(A-2=100%) (A-2→A-3縮小=70%)



TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-11
NAME	SCALE	
屋根・外部巾木詳細図・小庇詳細図		1/10
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

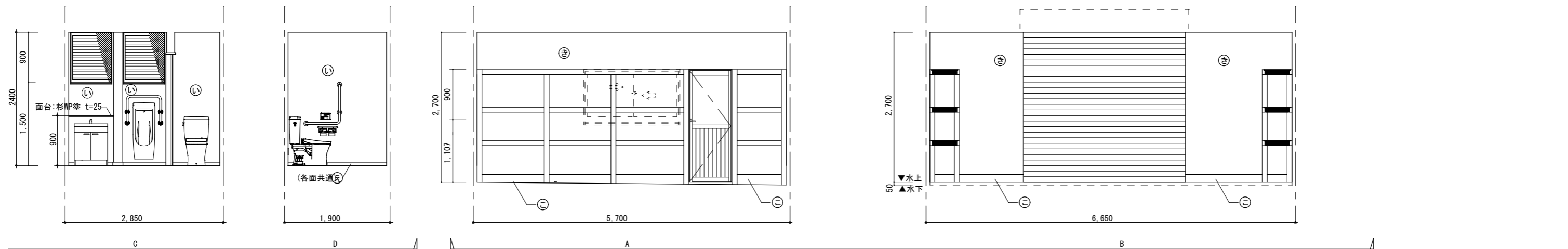


集会室



玄関・ホール

便所

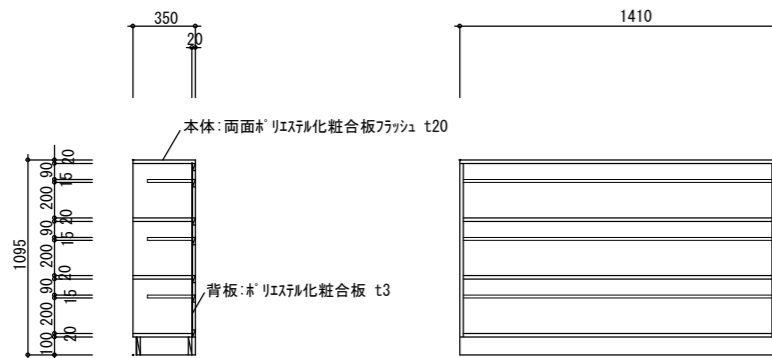
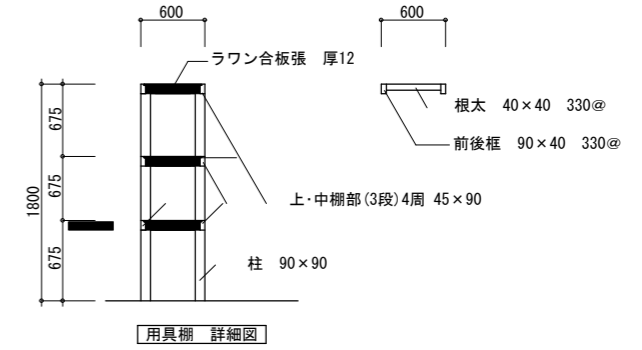
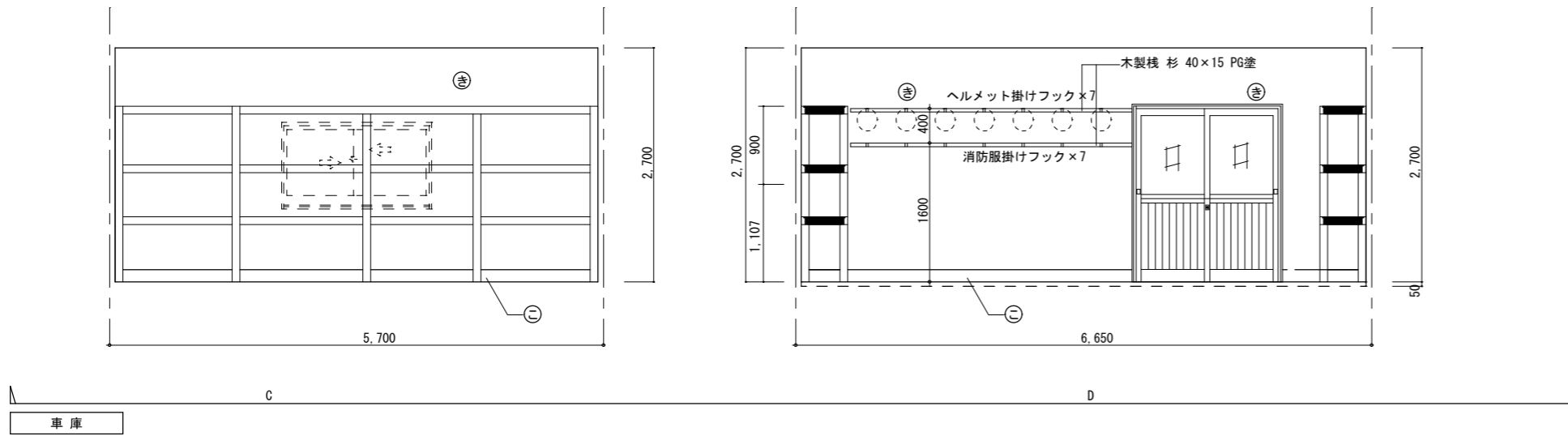


便所

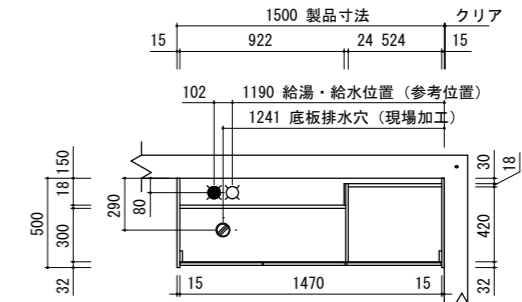
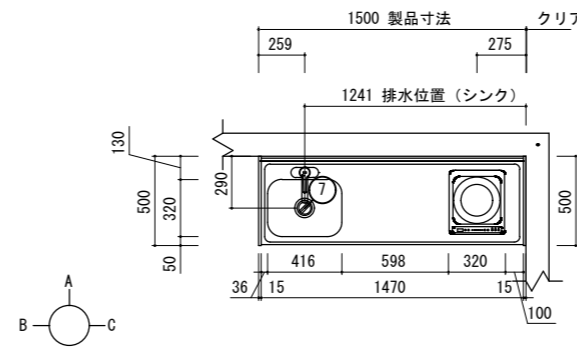
車庫

㊦	GB-D-t12.5下地tニルコス張り	㊦	タイル
㊧	GB-S-t12.5下地tニルコス張り	㊧	珪酸カルシウム板t6目透かし張り EP-G塗装
㊨	GB-S-t12.5キッチンパネル張り厚3	㊨	押入用t-ド
㊩	杉 H=60 木材保護塗料塗	㊩	集会室及び湯沸し見切木材(30×10)取付
㊪	雑巾摺	㊪	基礎コンクリート打放し(A種)

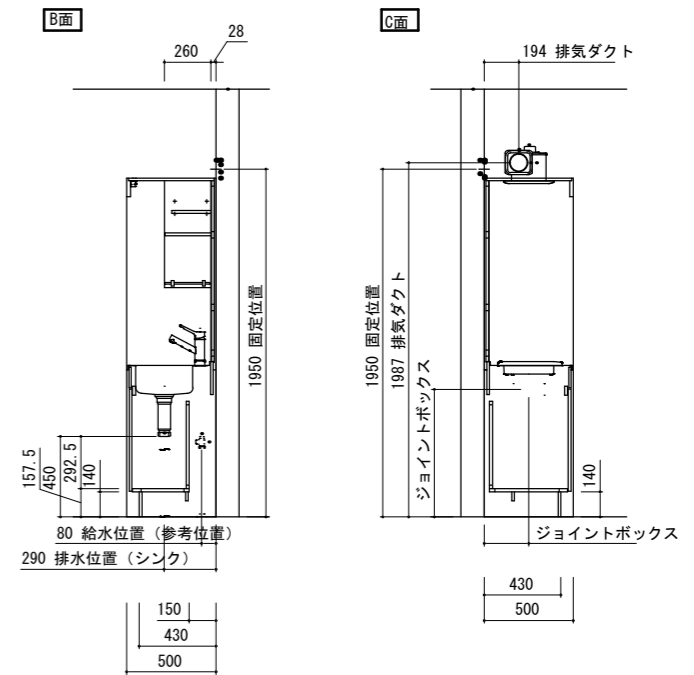
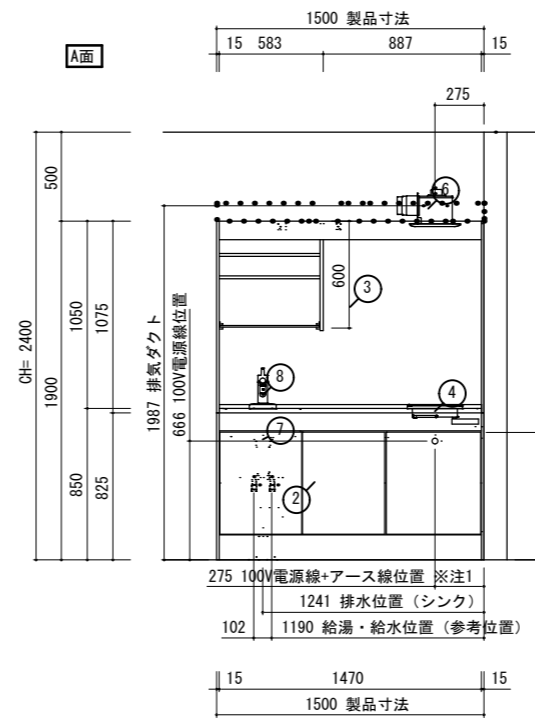
TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-12
NAME	SCALE	
展開図(1)	1/50	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



下足入詳細図 1/30



下台断面図



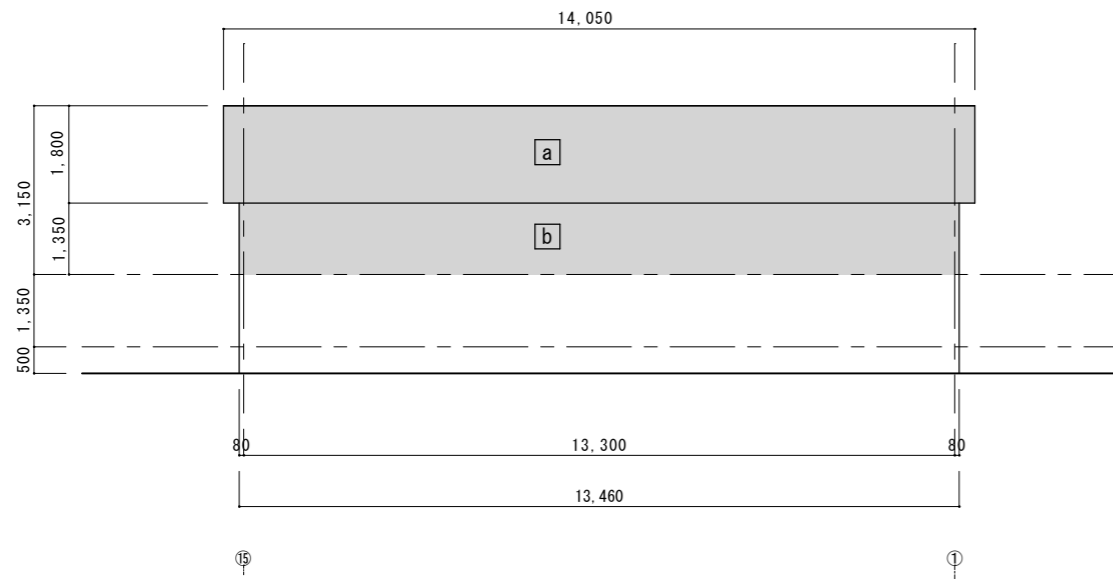
ミニキッチン詳細図 1/30 ※リケル同等品

㉞	GB-D-t12.5下地ビニル張り	㉠	タイル
㉟	GB-S-t12.5下地ビニル張り	㉡	珪酸カルシウム板t6目透かし張り EP-G塗装
㊱	GB-S-t12.5キッチンパネル張り厚3	㉢	押入用*ド
㊲	杉 H=60 木材保護塗料塗	㉣	集会所及び湯沸し見切木材(30×10)取付
㊳	雑巾摺	㉤	基礎コンクリート打放し(A種)

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-13
NAME	SCALE	1/50
展開図(2)・家具詳細図		1/30
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

記号	AD 1	AD 2	AD 3	AW 1
姿図				
型式	欄間付玄関引戸 (住宅用 半外付)	欄間付玄関引戸 (住宅用 半外付)	片開き扉ドア (住宅用 半外付サッシ)	雨戸付引違い窓 テラスタイプ (住宅用 半外付サッシ)
材質 (見込)	アルミ (カラー)	アルミ (シルバー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)
室名 (数量)	玄関 (1)	玄関～車庫 (1)	車庫 (1)	集会室 (1)
ガラス	複層ガラスF4K+A+FL6	単層ガラス6.8mm網入り	単層ガラス6.8mm網入り	複層ガラスFL5+A6+FL5
付属金物	付属金物一式	腰アルミパネル 付属金物一式	ステンレス数居、レバーハンドル、シリンダー錠、ドアクローザー	スライド網戸、スチール雨戸、雨戸錠
備考	YKKAP: 玄関引戸れん樹 同等品		YKKAP: 汎用ドア 同等品	YKKAP: フレミングJ 同等品
記号	AW 2	AW 3	AW 4	SS 1
姿図				
型式	雨戸付引違い窓 テラスタイプ (住宅用 半外付サッシ)	面格子付上げ下げ窓 (住宅用 半外付サッシ)	雨戸付引違い窓 (住宅用 半外付サッシ)	軽量バランスシャッター
材質 (見込)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	アルミ (カラー)	スチール
室名 (数量)	集会室 (1)	便所 (2)	車庫 集会室 (3)	車庫 (1)
ガラス	複層ガラスFL5+A6+FL5	単層ガラス6.8mm網入り型板 (便所)	複層ガラスFL5+A6+FL5	スチール製 t0.8
付属金物	スライド網戸、スチール雨戸、雨戸錠	アルミ格子付、内開き網戸	アルミ格子付、スライド網戸 付属金物一式	手動 付属金物一式
備考	YKKAP: フレミングJ 同等品	YKKAP: フレミングJ 同等品	YKKAP: フレミングJ 同等品	
記号	WD 1	WD 2	WD 3	WD 4
姿図				
型式	引違いフラッシュ戸 (両面樹脂シート貼り)	引違いフラッシュ戸 (両面樹脂シート貼り)	片引き戸 (樹脂シート貼り)	上吊片引き戸 (樹脂シート貼り)
材質 (見込)	樹脂シート貼り (36)	樹脂シート貼り (36)	樹脂シート貼り (36)	樹脂シート貼り (36)
室名 (数量)	集会室 (1)	集会室 (1)	便所 (1)	便所 (1)
ガラス		半透明樹脂板	半透明樹脂板	半透明樹脂板
付属金物	戸車、引手、ステンレス引戸用レール 他一式	戸車、引手、ステンレス引戸用レール 他一式	戸車、引手、ステンレス引戸用レール、表示錠 他一式	引手、表示錠、吊金物一式 他一式
備考	パナソニック内装ドア: VERITIS: 同等品	パナソニック内装ドア: VERITIS: 同等品	パナソニック内装ドア: VERITIS: 同等品	パナソニック内装ドア: VERITIS: 同等品

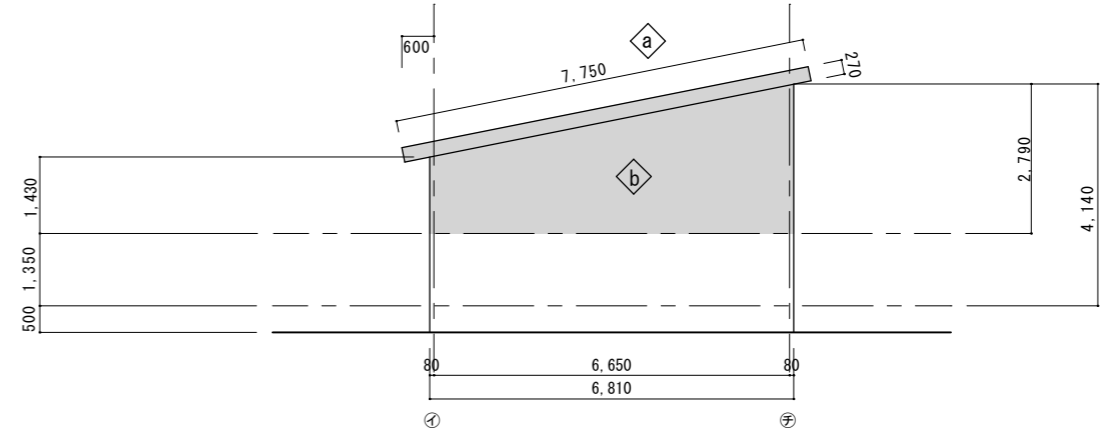
TITLE	令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事	DATE		NO	A-14
NAME	建具表	SCALE			1/50
株式会社	川建設	1級建築士登録 第126265		川端壮一郎	



X方向見付

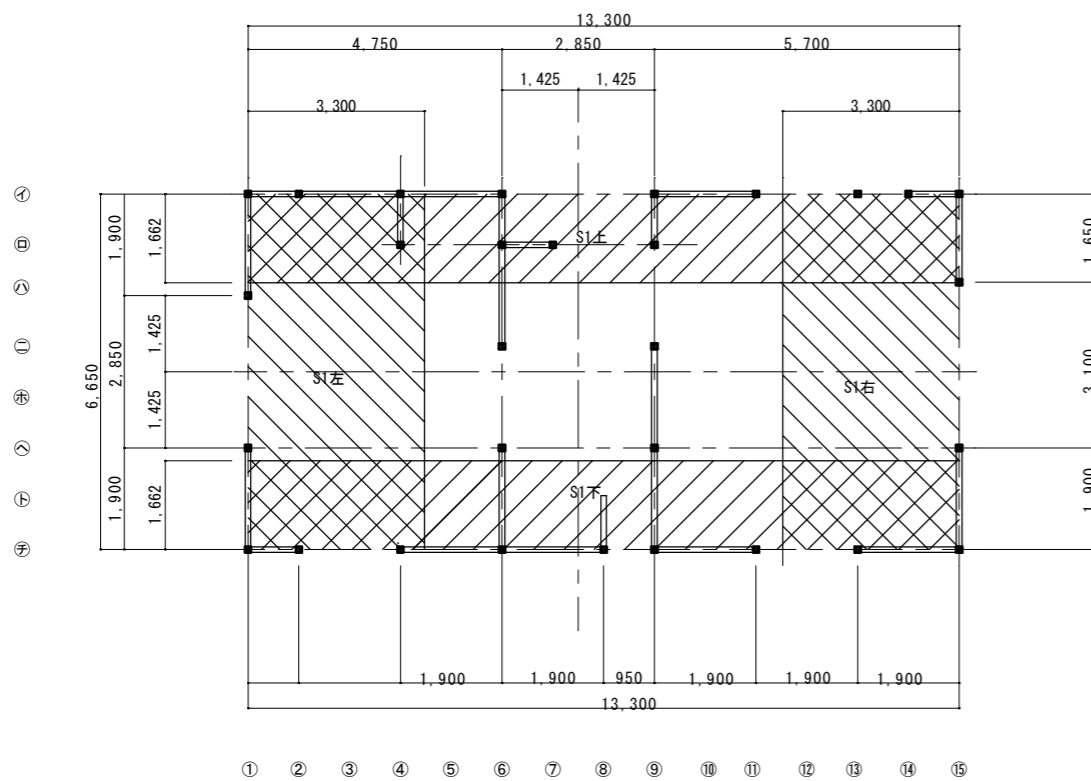
記号	ヨコ (m)	タテ (m)	面積 (m ²)
a	14.05	1.80	= 25.29
b	13.46	1.35	= 18.171
見付け面積 a~b 合計			= 43.461 43.46 (m ²)

見付面積求精図



Y方向見付

記号	ヨコ (m)	タテ (m)	面積 (m ²)
a	7.75	0.27	= 2.0925
b	6.81	(1.43 + 2.79) × 0.5	= 14.3691
見付け面積 a b 合計			= 16.4616 14.46 (m ²)



壁量面積求精図

記号	ヨコ (m)	タテ (m)	面積 (m ²)
S1上	13.300	1.662	= 22.1046
S1下	13.300	1.662	= 22.1046
S1下計			44.2092 44.2 (m ²)
S1右	3.300	6.650	= 21.945
S1左	3.300	6.650	= 21.945
S1左計			43.89 43.89 (m ²)

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-15
NAME	SCALE	
見付面積求精図・壁量面積求精図	1/100	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

壁量計算書（建築基準法施行令第46条）

軸組の種類	倍率	設計壁量の小計 (×単位壁量×ヶ所=)														
		X方向		Y方向		X方向		Y方向		X方向		Y方向				
		2階		1階		2階		1階		2階		1階				
		LD上	LD下	LD上	LD下	LD上	LD下	LD上	LD下	LD左	LD右	LD左	LD右			
1 土塗壁又は木ずりその他類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁に設けた軸組	0.5		95.0 × 0 = 0		95.0 × 0 = 0				0.0 × 1 = 0							
2 木ずりその他これに類するものを柱及び間柱の両面に打ち付けた壁を設けた軸組 厚さ1.5センチメートル以上で幅9センチメートル以上の木材若しくは径9センチメートル以上の鉄筋の筋かいを入れた軸組	1.0															
3 厚さ3センチメートル以上で幅9センチメートル以上の木材の筋かいを入れた軸組	1.5															
4 厚さ4.5センチメートル以上で幅9センチメートル以上の木材の筋かいを入れた軸組	2.0 2.0 2.0	×	190.0 × 6 = 2280 95.0 × 3 = 570		95.0 × 2 = 380 190.0 × 5 = 1900 165.0 × 1 = 330			0.0 × 1 = 0 0.0 × 1 = 0	0.0 × 3 = 0	0.0 × 1 = 0 0.0 × 2 = 0	0.0 × 2 = 0	0.0 × 1 = 0				
5 9センチメートル角以上の木材の筋かいを入れた軸組	3.0															
6 2～4までに掲げる筋かいをたすき掛けに入れた軸組 2～4の倍率×2 4の数値の2倍	4.0 4.0	×	0.0 × 0 = 0 0.0 × 4 = 0		0.0 × 3 = 0 0.0 × 1 = 0	91.0 × 2 = 728		0.0 × 2 = 0 0.0 × 2 = 0	0.0 × 1 = 0 0.0 × 2 = 0			0.0 × 1 = 0	0.0 × 3 = 0	0.0 × 5 = 0		
7 5に掲げる筋かいをたすき掛けに入れた軸組	5.0															
8 その他1～7までに掲げるものと同程度の耐力を有するものとして国土交通大臣が定めた構造方法を用いるもの又は国土交通大臣の認定を受けたもの（厚9mm 構造用合板等）	2.5															
9 上記に掲げる壁、筋かいした軸組	4.5															
設計壁量の合計 cm			2850.0		2610.0	728.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

上の数値が必ず下の数値以上であること

必要壁量 cm	IV	IV	IV	IV
	0.0	2180.5	0.0	942.7

or : いずれか大きい数値 ①or③ ②or④ ①or⑤ ②or⑥

地震力に対して

2階床面積 0.00 m² × 表2の数値 15 = 0 ... ①

1階床面積 85.70 m² × 表2の数値 11 = 942.7 ... ②

※表2の数値は建築基準法施行令第46条の表による

風圧力に対して

2階見付面積 0.00 m² × 表3の数値 0 = 0.0 ... ③

X面立面

1階見付面積 43.61 m² × 表3の数値 50 = 2180.5 ... ④

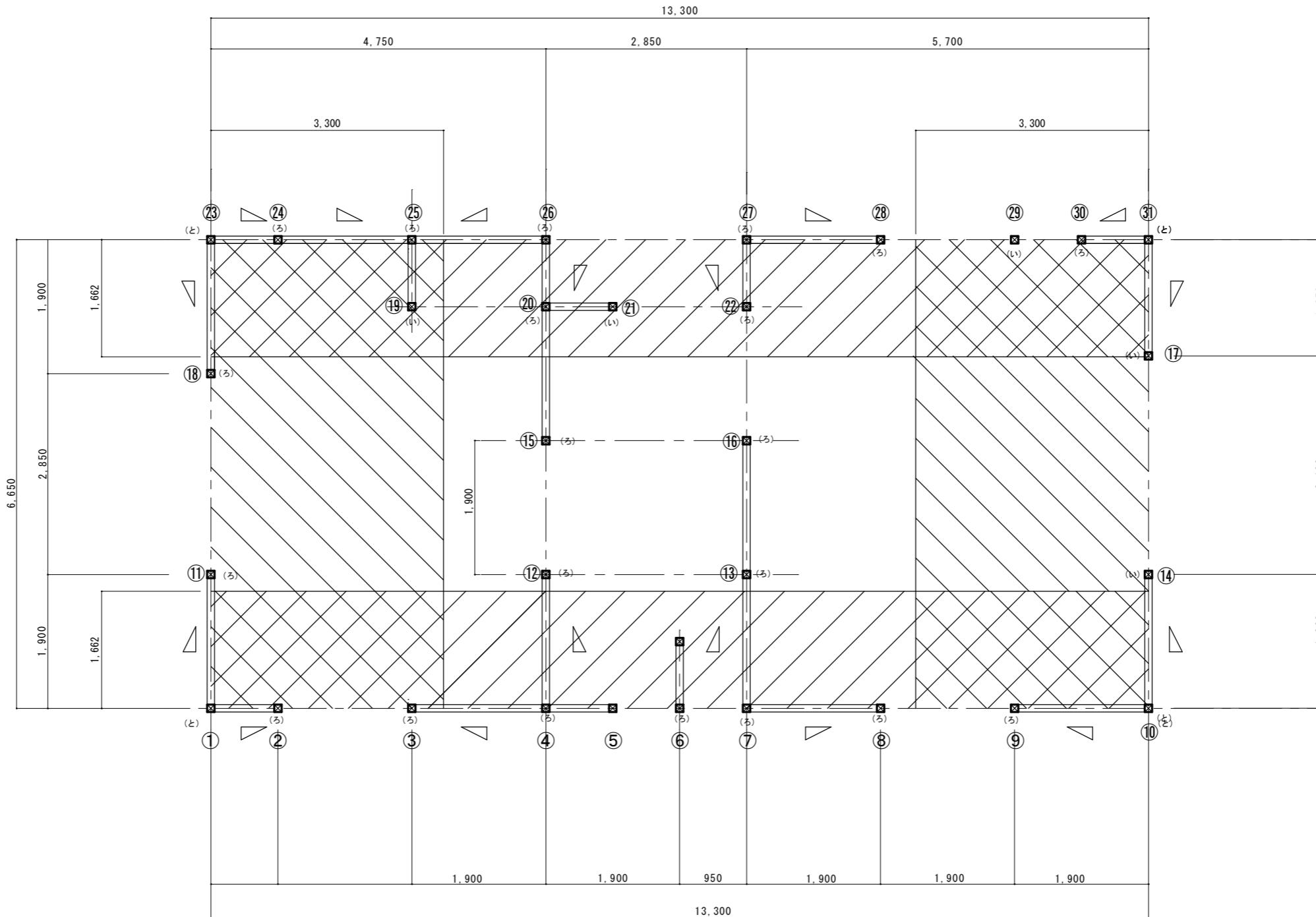
2階見付面積 0.00 m² × 表3の数値 0 = 0.0 ... ⑤

※表3の数値は建築基準法施行令第46条の表による

Y面立面

1階見付面積 14.46 m² × 表3の数値 50 = 723.0 ... ⑥

壁量充足率	1.31	1.31	2.77	2.77
-------	------	------	------	------

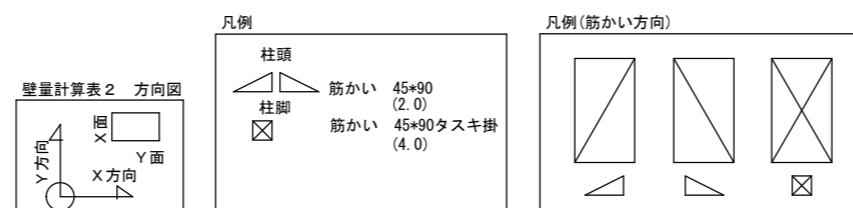


筋かい配置図、金物図 (い)、(ろ)金物は(は)金物を使うこと。

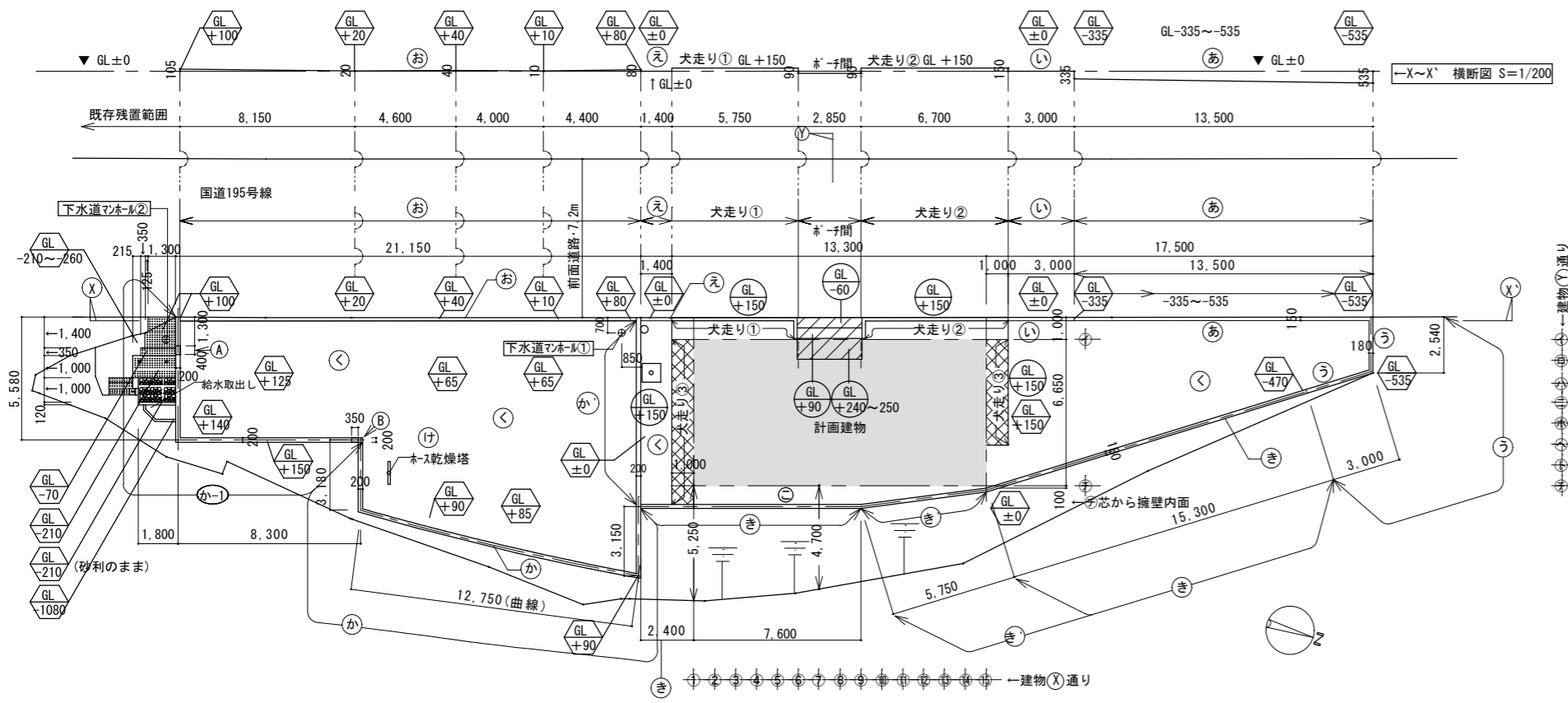
告示1460号表三に対応

適用	Nの値	告示第三 (凡例)	必要耐力 (kN)	Zマーク金物例
	0.0 以下	(い)	0.0	短ほぞ差し、又はかすがい打
	0.65 以下	(ろ)	3.4	長ほぞ差し込み栓打、又はL字形かど金物くぎCN65×5本
◎	1.0 以下	(は)	5.1	T字形かど金物くぎCN65×5本、又は山形?レド金物くぎCN90×8本
◎	1.4 以下	(い)	7.5	羽子板*1φ12mm(SB2)、又は短冊金物
◎	1.6 以下	(ほ)	8.5	羽子板*1φ12mmに長さ50mm径4.5mmのスクルー釘(SBF)
	1.8 以下	(へ)	10.0	10KN用引き寄せ金物
◎	2.8 以下	(と)	15.0	15KN用引き寄せ金物
	3.7 以下	(ち)	20.0	20KN用引き寄せ金物
	4.7 以下	(り)	25.0	25KN用引き寄せ金物
	5.6 以下	(ぬ)	30.0	15KN用引き寄せ金物×2枚
	5.6 超	-	N×5.3	

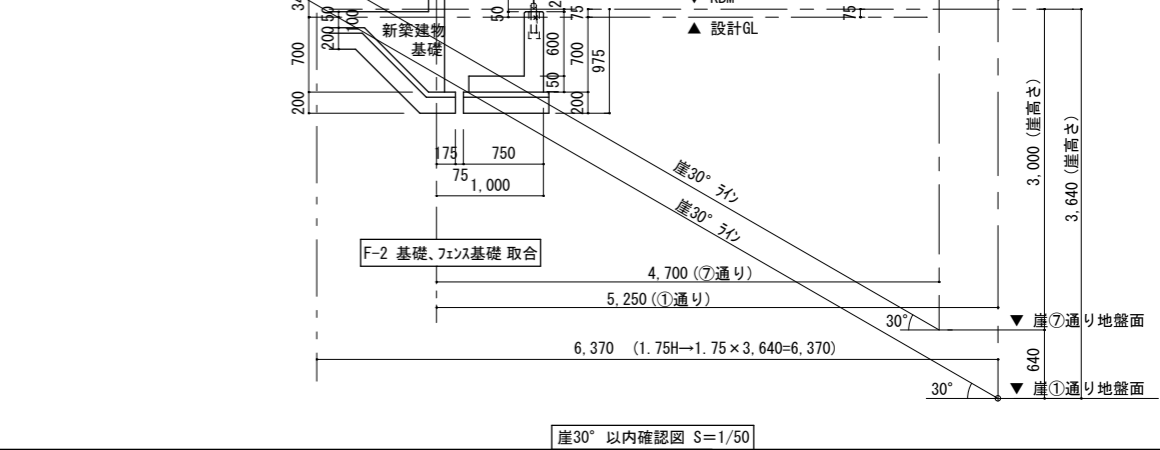
※柱の上下金物は同等以上とすること。
 ※下記以外の同等耐力以上のZマーク同等金物も使用可能。
 ※筋かいの入らないところも(は)金物を入れること。



TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団話所新築工事		A-17
NAME	SCALE	
筋かい配置図・金物図	1/50 1/100	
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

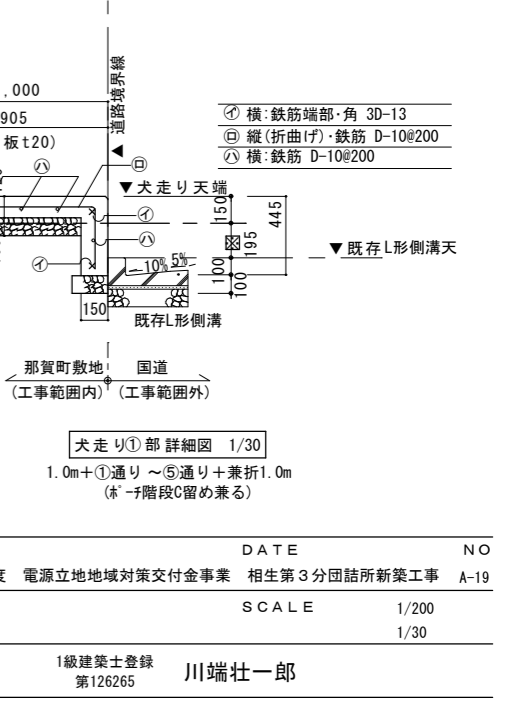
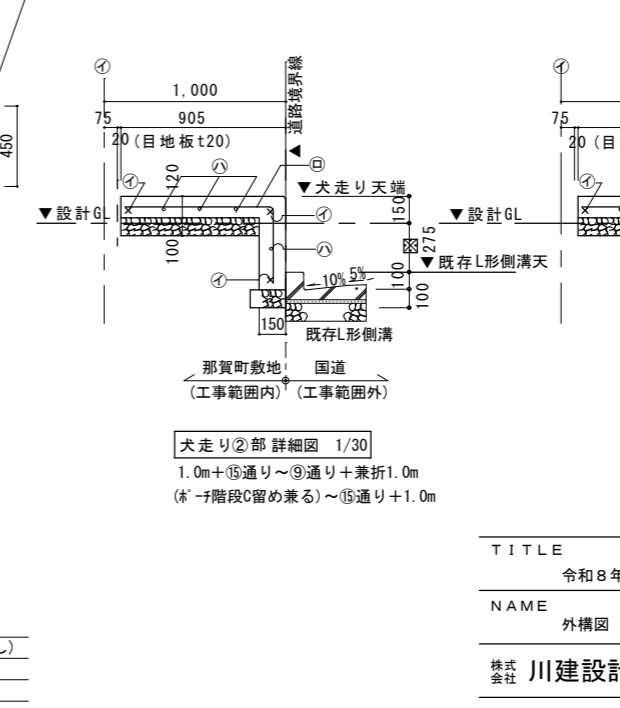
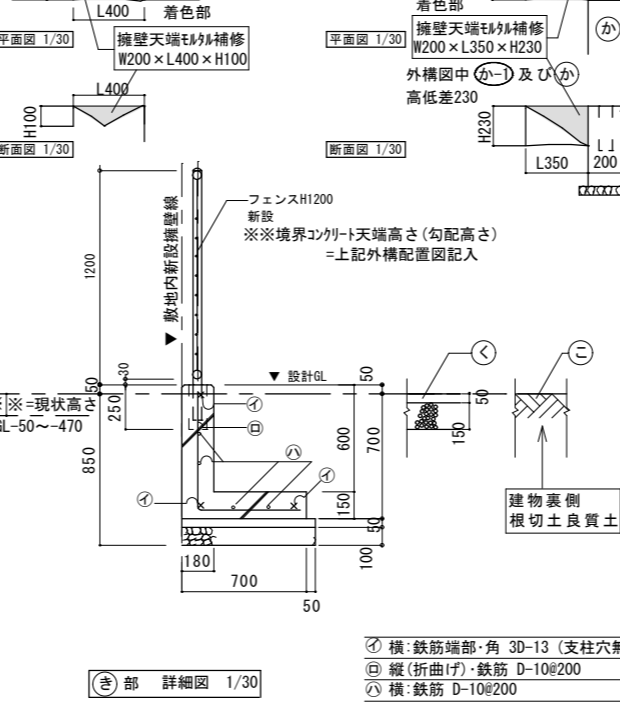
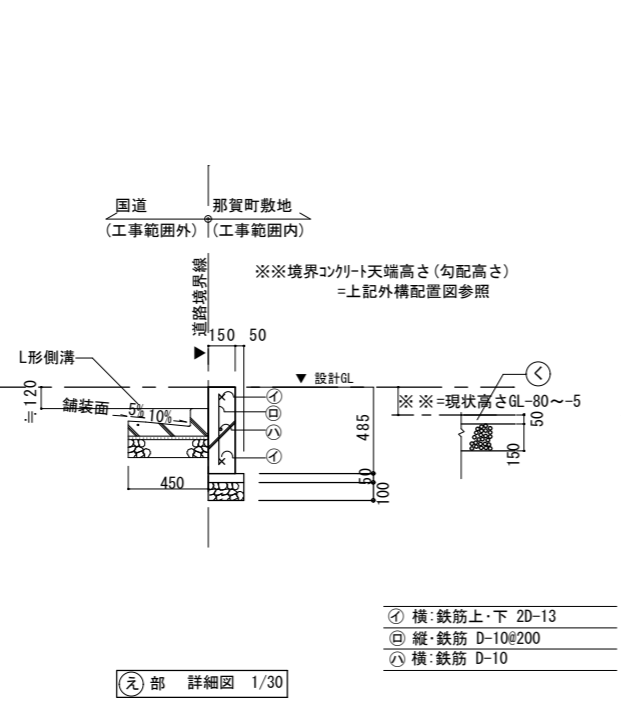
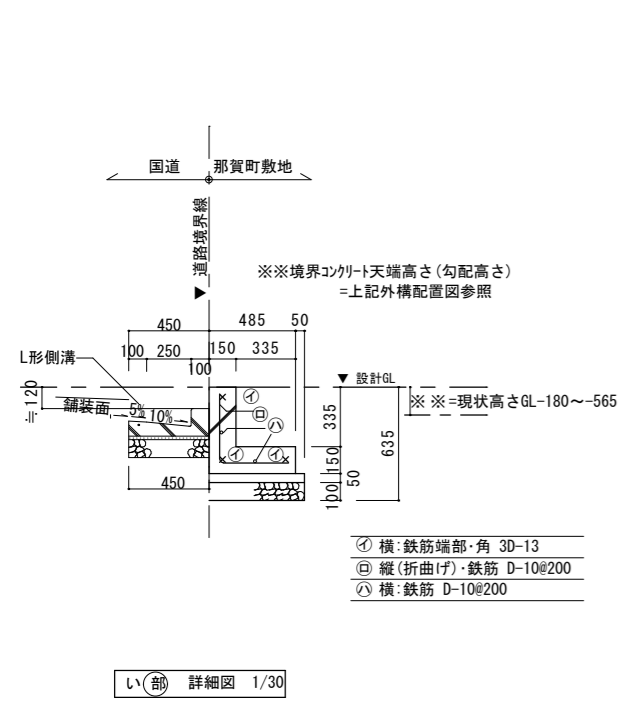
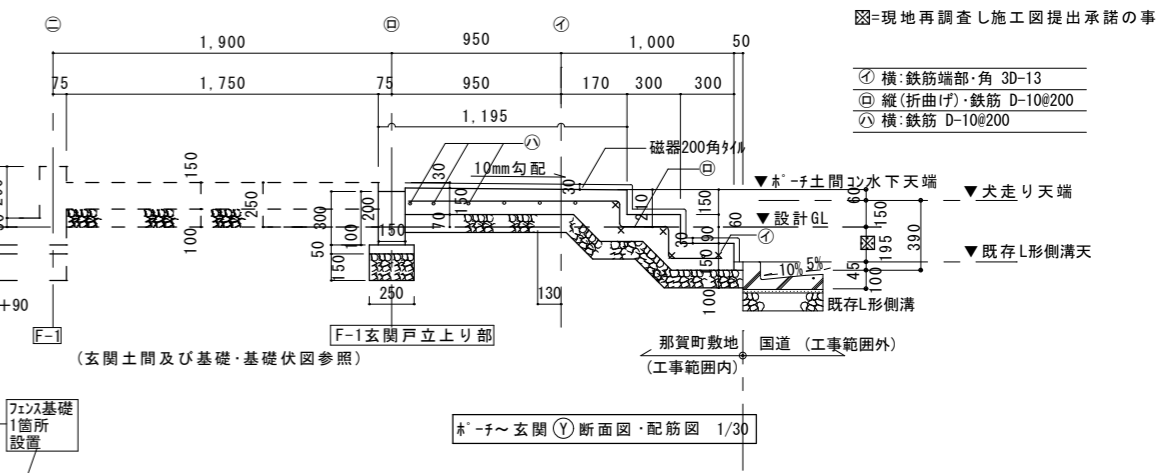
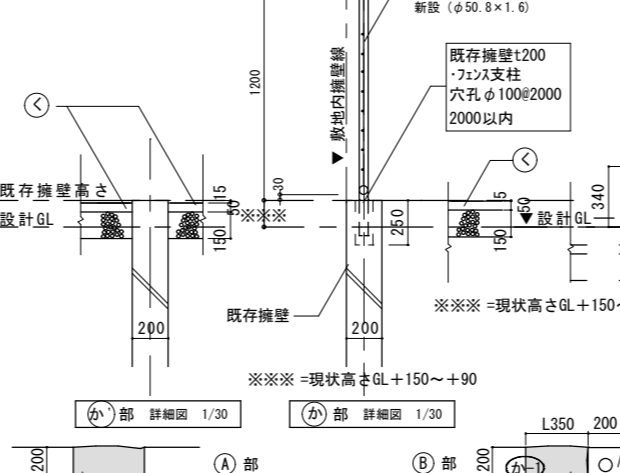
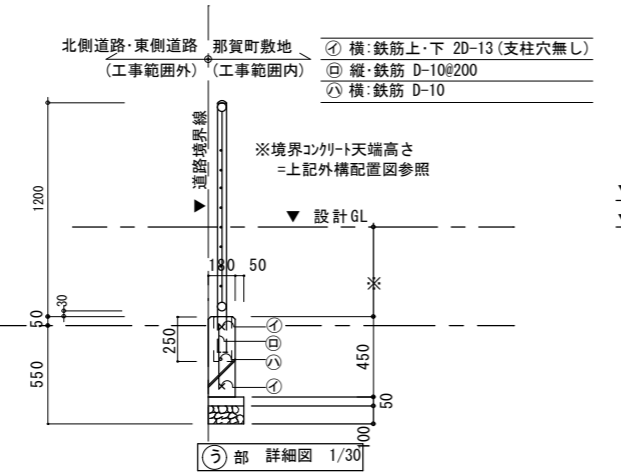
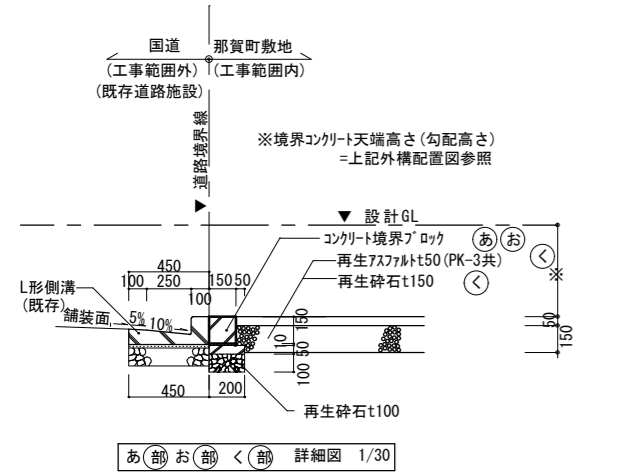


- 外構工事概要
- ① コンクリート境界ブロック 外構配置図
 - ② L型擁壁 外構配置図
 - ③ フェンス及びフェンス基礎(1字型) フェンスH1200新設 基礎図示
 - ④ 擁壁 (I字型) 外構配置図
 - ⑤ コンクリート境界ブロック 外構配置図
 - ⑥ 既存擁壁W200・フェンス設置 フェンス支柱穴φ100×H200@2.0m及びφ120m以内
 - ⑦ 既存擁壁W200・1部フェンス設置 " " (1部フェンス支柱穴)
 - ⑧ L型擁壁・フェンス設置 フェンスH1200新設 L型擁壁図示
 - ⑨ " " フェンスH1200新設(L型擁壁、建物近く底盤小さくなる)
 - ⑩ アスファルト舗装 建物、犬走り、敷地内コンクリート構造物部以外の全て
 - ⑪ ホス乾燥塔 H=12m 1基 (別紙ホス乾燥塔図参照)
 - ⑫ 埋戻し土 根切土中の良質土利用
 - ⑬ (A) (B) 既存擁壁W200、コンクリート壊れ箇所復旧 (外構詳細図示)
- ①=② ~ ④ 外構配置中、外構工事位置及び範囲示す
- GL±0 = GL±0から外構工事高さからの高低差示す
- GL±0 = GL±0から犬走り末端及び玄関ホーチのコンクリートの高低差示す
- ①②③ = 犬走り③は矩計断面図参照
- ④ = 南側階段表す(既存残置)
- ⑤ = ホーチ玄関床磁器200角タイル示す
- ⑥ = 下水道マンホールφ350φ及びφ150φ
- ⑦ = 既存砂利敷(既存残置)



外構配置図 S=1/200
外構 ① ~ ⑬ 各部詳細及び配筋図 S=1/30

崖30°以内確認図 S=1/50



- ① 横:鉄筋端部・角 3D-13
- ② 縦(折曲け)・鉄筋 D-10@200
- ③ 横:鉄筋 D-10@200

- ④ 横:鉄筋上・下 2D-13
- ⑤ 縦:鉄筋 D-10@200
- ⑥ 横:鉄筋 D-10

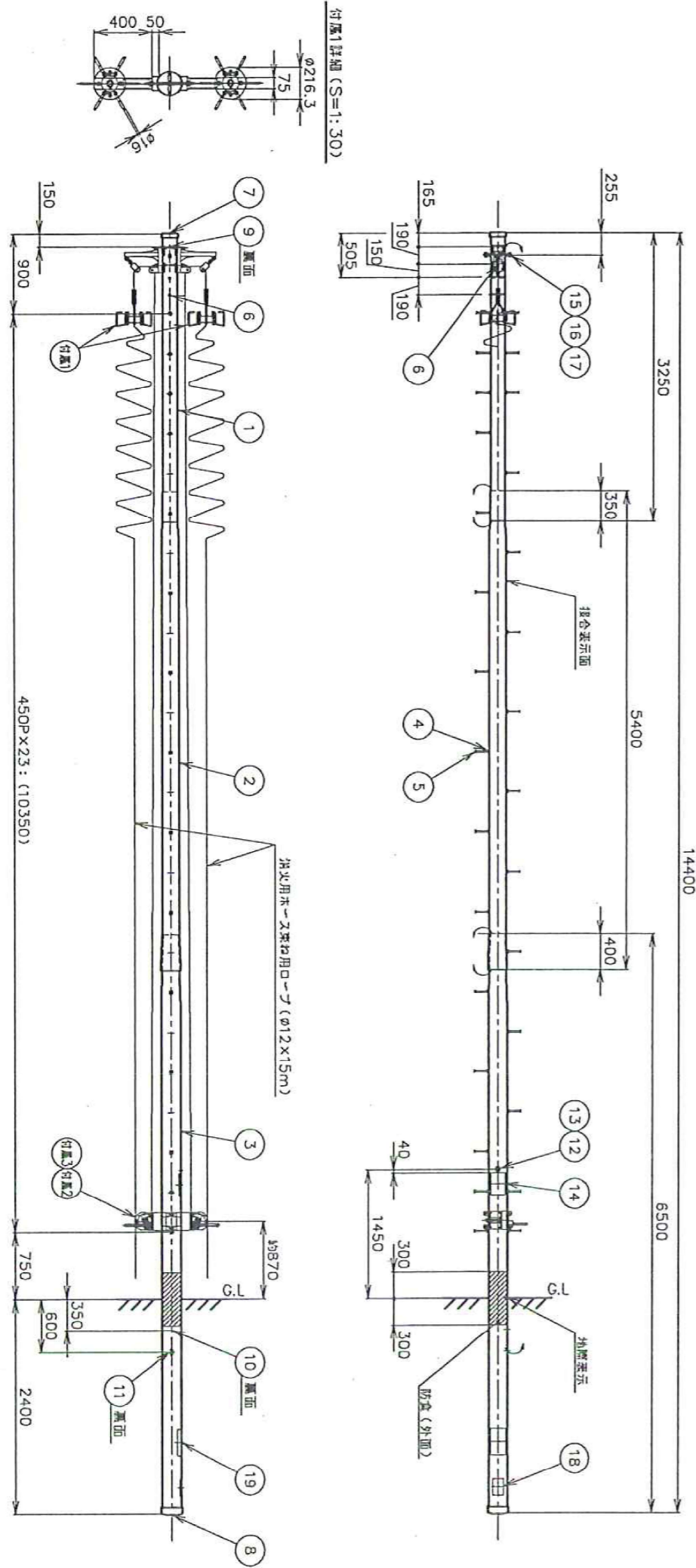
- ⑦ 横:鉄筋端部・角 3D-13 (支柱穴無し)
- ⑧ 縦(折曲け)・鉄筋 D-10@200
- ⑨ 横:鉄筋 D-10@200

- ⑩ 横:鉄筋端部・角 3D-13
- ⑪ 縦(折曲け)・鉄筋 D-10@200
- ⑫ 横:鉄筋 D-10@200

- ⑬ 横:鉄筋端部・角 3D-13
- ⑭ 縦(折曲け)・鉄筋 D-10@200
- ⑮ 横:鉄筋 D-10@200

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-19
NAME	SCALE	1/200
外構図		1/30
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

(A-2=100%) (A-2→A-3縮小=70%)



				10	六角ボルト M6×12×12	1	しんちゅう
19	NAホスボール工事説明書	1	上質紙	9	ゴムプッシュ (φ20) t3.2・t4.0共用	1	EPDM
18	保管注意事項ラベル	1	上質紙	8	底キャップ (φ216.3用)	1	SPHC
17	中継用六角ナットM16 (付クリップ)	2組	強度区分 4	7	キャップ (φ165.2用)	1	SPHC
16	アイボルト (M16)	2	SS400	6	導通管 (φ21.7×1.9-165)	4	STK400
15	安全帯取付用足場座 (C3型)	2	SAPH370	5	足場ボルト (W5/8)	29	強度区分4.6
14	警告ラベル (安全に関するご注意)	1	高強度樹脂ラミネート	4	足場座 (C5型)	29	SAPH370
13	銘板取付板	2	しんちゅう	3	φ216.3×4.5-6500	1	STK540
12	銘板 (NAホスボール)	1	アルミ	2	φ193×3.2-5400	1	STK490
11	ゴムプッシュ (29×63有効径)	1	EPDM	1	φ165.2×3.3-3250	1	SS400

溶融亜鉛メッキ部の仕様
(ボルト類350g/m²以上)
溶融亜鉛メッキ450g/m²以上

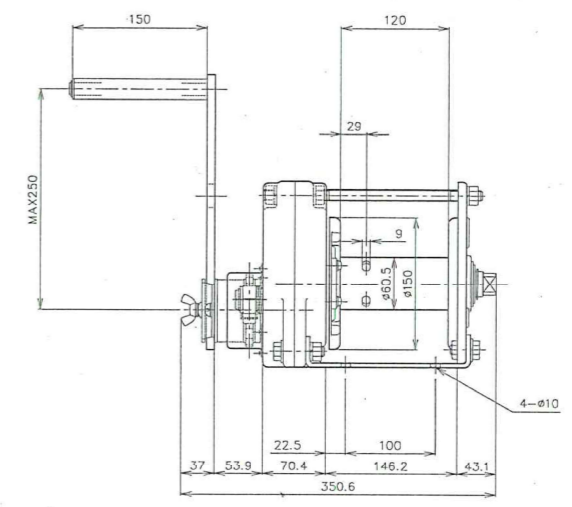
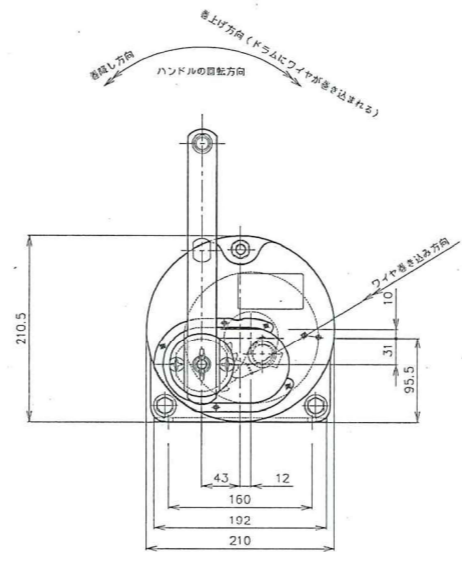
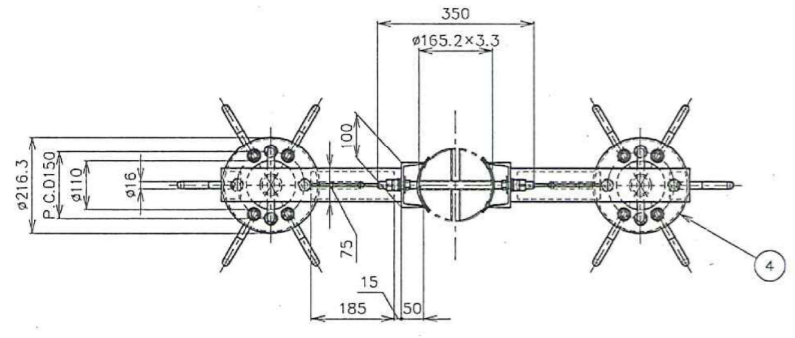
付属3	ウィンチ (GM-3-SI)	2組
付属2	ウィンチ架台 (両側用：併用タイプ)	1組
付属1	ウィンチ式吊下装置両側12本バンドレス型	1組

ホース乾燥塔 地上高さ12m、ホース12本吊り仕様

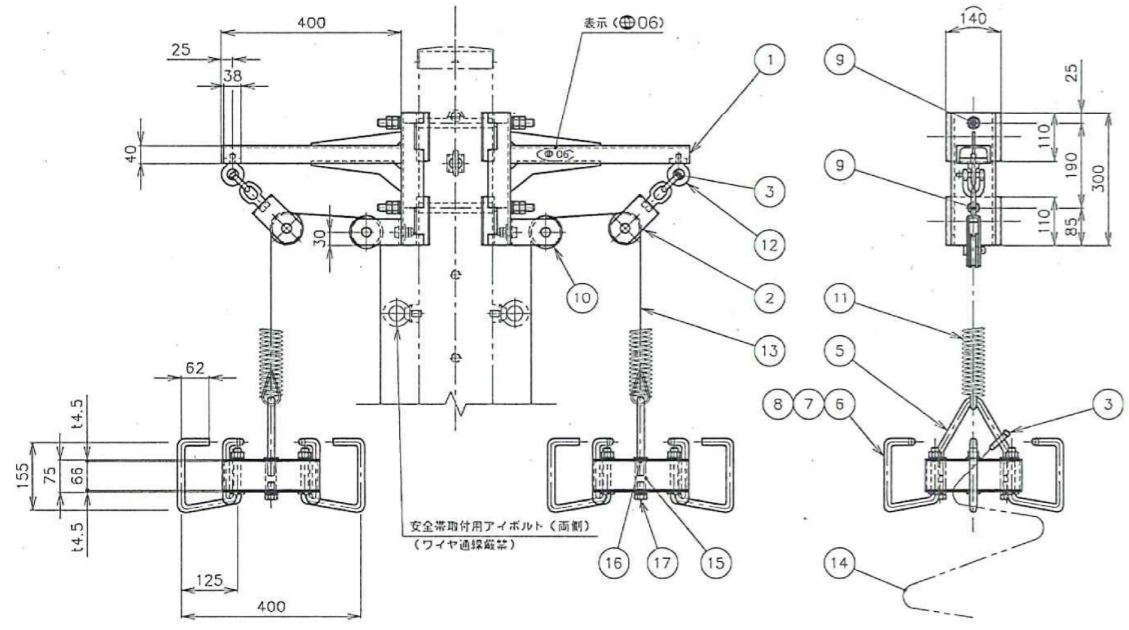
※設置前に強度計算書等の資料を提出し監督員の承諾を得ること
※ポール基礎及び地中部の仕様はメーカー仕様による

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団詰所新築工事		A-20
NAME	SCALE	
ホース乾燥塔図 (1)		
株式会社 川建設	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

(A-2=100%) (A-2→A-3縮小=70%)

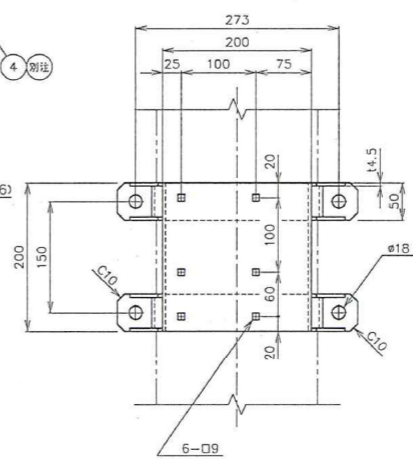
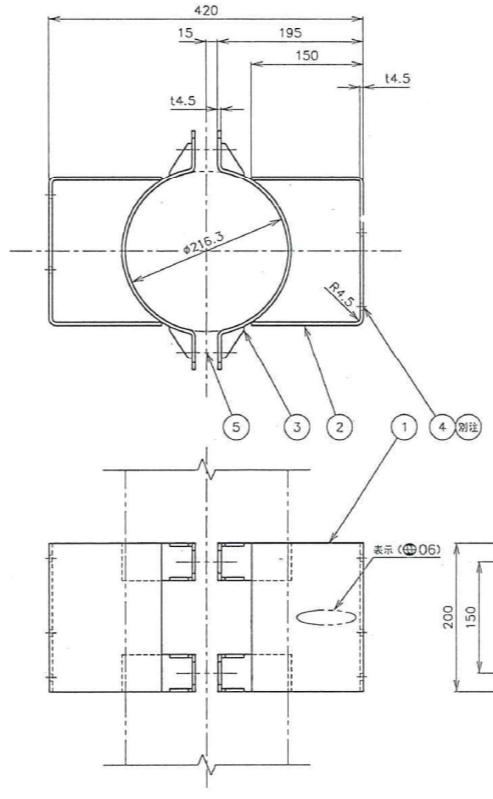


仕 様		GM-3-S1	
型式	GM-3-S1	ハンドル長さ 250mm	ワイヤ巻き段数: 1段目 76N (= 7.7kgf)
前記	ワイヤロープ引張力: 2940N (= 300kgf)	手荷重 ワイヤロープ引張力 2940N	ワイヤ巻き段数: 3段目 10.3N (= 10.5kgf)
ワイヤロープ取巻量	使用ワイヤロープ: φ6.3×23m (最大32m)	自重	本機のみ 約13.5kg
減速比	1/6.25	標準付属部品	ハンドル 1本
ハンドル長さ (有効最大)	250mm		ワイヤロック用L型レンチ 1本



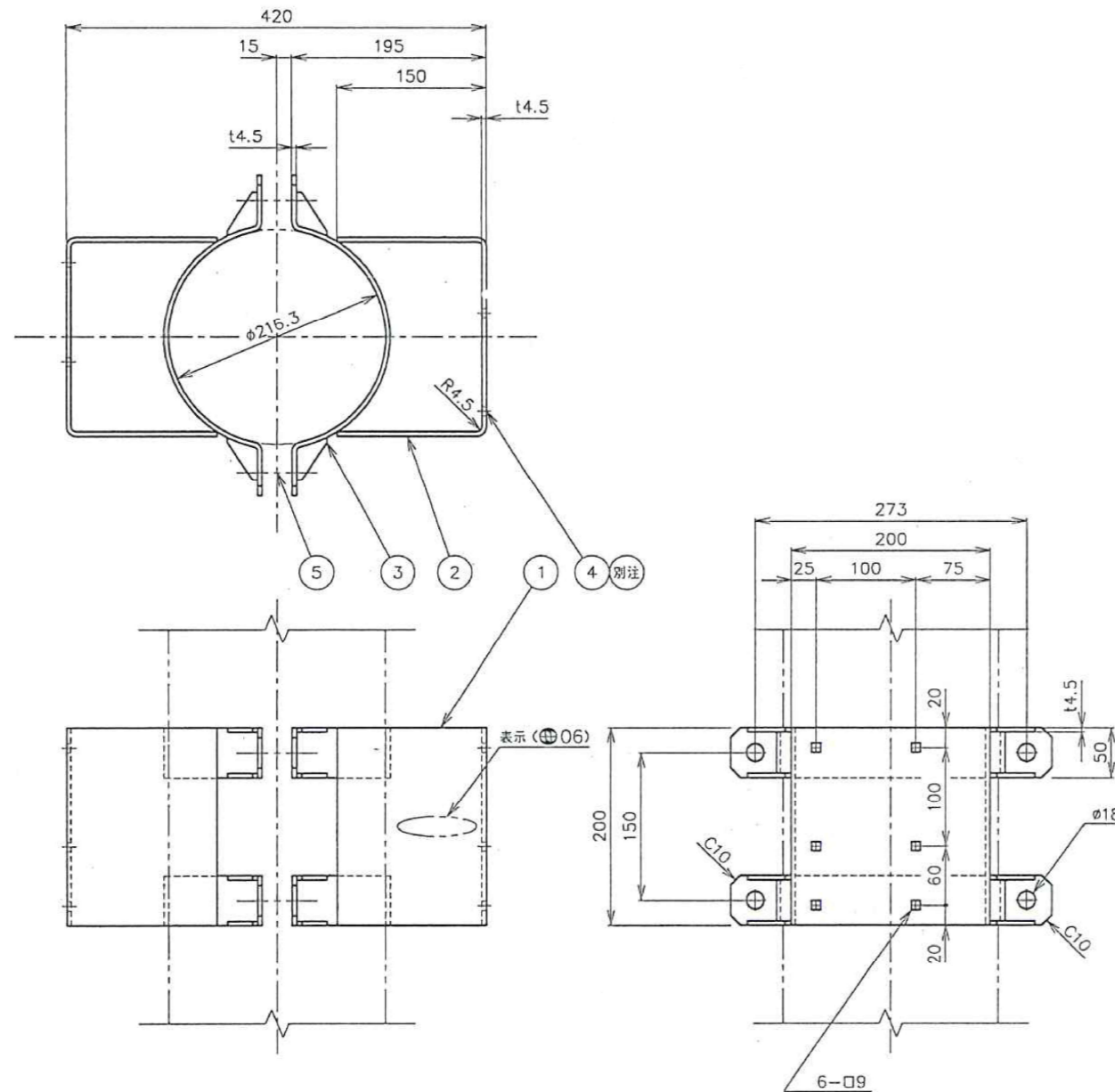
17	六角ボルトM16×30×30付W,SW	4	強度区分4.6
16	平座金 (並丸 t3.2) 呼び16	4	SPHC
15	高ナット (M16×H60)	4	SWCH
14	消火用ホース束ね用ロープ (φ12×15m)	2	ナイロン樹脂
13	ステンレスワイヤ (φ6.3×23m付シンプル)	2	SUS材
12	アイボルト (M12)	2	SS400
11	圧縮ばね (φ5×φ50-180 巻き数14.5)	2	SUS302
10	ガイド用滑車 (φ75) (付六角ボルトM12×35×35付3種N×2)	2組	鋼・SUS材 強度区分4.6
9	長ねじボルトM16×350H×2,SW×2,N×4	2組	強度区分4.6
8	イダリング (M16)	12	SUS304
7	六角ナット, W, SW (M16用)	12組	強度区分4
6	ホースフック (φ16)	12	SS400
5	ハンガーフック (φ16)	2	SS400
4	ハンガー金物 (円形タイプ)	2組	SS400
3	シヤックル (φ12)	4	SS材
2	ホース吊下げ用滑車 (φ75)	2	鋼・SUS材
1	共架金物 (ウインチ式用)	2組	SS400

溶融亜鉛メッキ部の仕様
溶融亜鉛メッキ450g/m²以上
(ボルト類350g/m²以上)



別注	マックスブルハンドウインチ	2式	-
付属	取扱説明書 (ウインチ式)	1	-
5	六角ボルトM16×70×38 (H,W,SW,N)	4	強度区分4.6
4	角鋼丸頭ボルトM8×20×20 (H,W,SW,N)	8	SUS304
3	リブプレート t4.5	16	SS材
2	ウインチ取付バンド t4.5	4	SS400
1	ウインチ取付架台 t4.5	2	SS400

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団団結所新築工事		A-21
NAME	SCALE	1/200
ホース乾燥塔図 (2)		1/30
株式会社 川建設計	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎



別注	マックスプルハンドウインチ	2式	-	
付属	取扱説明書 (ウインチ式)	1	-	
5	六角ボルトM16×70×38 (付W,SW,N)	4	強度区分4.6	
4	角根丸頭ボルトM8×20×20 (付W,SW,N)	8	SUS304	
3	リブプレート t4.5	16	SS材	
2	ウインチ取付バンド t4.5	4	SS400	
1	ウインチ取付架台 t4.5	2	SS400	

TITLE	DATE	NO
令和8年度 電源立地地域対策交付金事業 相生第3分団話所新築工事		A-22
NAME	SCALE	
ホース乾燥塔図 (3)		
株式会社 川建設計	1級建築士登録 第126265	川端壮一郎

(A-2=100%) (A-2→A-3縮小=70%)